

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人 愛耕福祉会

令和4年度 社会福祉法人 愛耕福祉会

～経営理念～

社会福祉法人愛耕福祉会は次の5つの経営理念をもって、保育事業の展開を図り、社会福祉に貢献する。

1. 子どもの最善の利益を第一に考える保育園
2. 養護と教育を一体的に行う保育園
3. 保育の質の向上を追求し続ける保育園
4. 保護者や地域に「心から信頼される」保育園
5. 保育の専門性を生かし、子育て支援を行う保育園

このことを根底に据え、下記の行動指針を順守する。

○子どもが保育園での生活に満足し、全ての子どもが心から明日を楽しみ、保護者も子どもも預けたことに満足する保育園の実現を目指す。

○保育の質とは子どもの健やかな育ちを保障する「生活の場」としての保育環境の充実と子育て支援、地域支援のための保育士の専門性の向上を組織をあげて構築していく。更に保育内容の適切な説明、保育態度、応対、マナーなど保護者の立場に立って考えて行動する。

○保育園運営の社会的責任を自覚し、保護者や地域社会の多様なニーズに応えるべく、待機児童の解消と就労支援に努める。

○保育に携わる者として、日々の研鑽に励み、よりよい保育の知識・技能を高め、常に自己の資質の向上を目指す。

○職員一同がお互いに理解し、協力を深めると共に、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる保育園づくりを進める。

○常に社会人としての自覚を持ち、社会的な良識に従って行動すると共に、地域社会から信頼されることを目指す。

令和4年度 総括

当法人は平成18年11月（15日）に創業（NPO法人 明育会）し、事業開始（平成20年4月）から今日まで15年2ヶ月が経過しました。平成27年3月（10日）「社会福祉法人」の設立認可を受けた後、平成29年4月「雲南市立大東保育園」を業務受託し、翌年（平成30年）4月には私立認可保育施設「みなみかも保育園」を開園し、現在に至ります。

社会福祉法人の経営を取り巻く外部環境の変化はきわめて大きく、少子高齢化に加え、人口減少が進行する「2040年問題」、人口構造の大きな変化は、現役世代を急減させます。先般、厚生労働省は令和4年の出生数が外国人を含む速報値で前年比5.1%減の79万9728人と発表しました。これは国の推計より11年早いと言われており、7年連続で過去最少を更新することになりました。ここ雲南市においても少子化が加速したこと、市の担当者が市内各保育園運営事業者に対し、令和6年度以降の定員の見直しを打診しており、今後、園児数の減少が職員の雇用維持や経営に直結する事態が顕在化してまいりました。特に開園5年目を終えた「みなみかも保育園」は開園2年目（平成31年／令和元年度）に事業単体で採算ベースに乗ったものの、令和4年度は想定より0歳児の入園が見込めなかつたことで園児数が減少（H30年度41名／R元年度66名／R2年度72名／R3年度74名／R4年度67名）することで収益が大幅に悪化。期中（10月）で2名の職員を異動することで固定費（人件費）を圧縮するも、収入の減少をカバーすることができず、大幅な減収・減益により財務を毀損する結果となりました。また、「みなみかも保育園」は建設資金の借入償還等を一手に担っており、令和4年度後半から「ふるさと融資」の償還も始まったことから、単独での収益改善は当面厳しい状況です。これまで法人の財政面で屋台骨を支えてきた「雲南市立かもめ保育園及び大東保育園」も、早晚、少子化の影響を受け、この2園で法人全体の収益面をカバーすることが困難になることが予想されます。我々は「地域のセーフティーネット」としての役割を果たすために、新型コロナの感染拡大、物価高やエネルギー価格の高騰など喫緊の課題に直面しながらも、人口減少という大きな潮流のなかを突き進み、地域の福祉サービスを維持しなければなりません。そのためには的確に現状を把握し、中長期的な法人の経営戦略を検討することが必要です。そのためにも、当面は収入に見合った組織体制を構築することで財政健全化を早期に実現して参ります。

また「人事面」においては、令和4年度も法人の将来を担う新卒職員を採用（保育士2名／管理栄養士1名）することができました。令和4年度は自己都合による退職者（園長1名／保育士6名／栄養士1名／調理師1名）もありましたが、人手不足が深刻な保育（福祉）業界にありながら、当法人は比較的順調に職員体制を維持しており、保育現場に混乱をきたすことなく経営することができました。しかしながら近年、「人材の確保・定

着」は社会福祉法人にとって大きな課題の一つであり、前述した「2040年問題（生産年齢人口の急減）」への対応が強く求められています。このような「少子高齢・人口減社会」と、雇用・労働をめぐる環境や制度の変化、そして入園児の急減による定員割れがもたらすことでおこる雇用の維持という相反する問題に対峙しながら、職員が「元気に働きながら成長できる職場」、求職者にとって「魅力ある職場」づくりがこれからも必要であることに変わりありません。当法人はこうした外部環境の変化に対応する施策として『健康経営』を積極的に展開しています。その施策の一環として令和元年から「健康経営優良法人認定制度」に取組み、4年連続で『健康経営優良法人（中小規模法人部門）』の認定を受けました。当法人はこれからも職員が働きやすい職場づくりをスピード感をもって具体的に実践し、地域一番の「ワークライフバランス推進企業」として企業価値を高めて参ります。

以上

令和4年度 法人本部 事業報告

1. 理事会

○<第1回 令和4年6月3日（金）10時00分～11時15分>

報告及び議事

第1号報告 理事長の職務執行状況報告について

第1号議案 令和3年度事業報告について

第2号議案 令和3年度決算報告について

監事監査報告

第3号議案 「給与規程」の一部改正について

第4号議案 「感染症予防業務手当取扱規程」の一部改正について（追認）

第5号議案 「新型コロナウィルスに伴う特別休暇規程」の一部改正について（追認）

第6号議案 定時評議員会の招集について

○<第2回 令和4年12月13日（火）10時00分～11時00分>

報告及び議事

第1号報告 「理事長の職務執行状況報告」について

第2号報告 「令和4年度島根労働局長安全衛生表彰 奨励賞」受賞について

第3号報告 「令和4年度健康づくり活動表彰事業 県会長賞」受賞について

第1号議案 「令和4年度資金収支第1次補正予算」について

第2号議案 「就業規則」の一部改正について

第3号議案 「給与規程」の一部改正について

第4号議案 「育児・介護休業等に関する規則」の一部改正について（追認）

第5号議案 「感染症予防業務手当取扱規程」の一部改正について（追認）

第6号議案 「新型コロナウィルスに伴う特別休暇規程」の一部改正について（追認）

○<第3回 令和5年3月28日（火）9時55分～11時55分>

報告及び議事

第1号議案 「園長人事」について

第2号議案 「令和4年度資金収支第2次補正予算」について

第3号議案 「令和5年度事業計画」について

第4号議案 「令和5年度資金収支予算」について

第5号議案 「就業規則」の一部改正について

第6号議案 「給与規程」の一部改正について

第7号議案 「キャリアパス規程」の一部改正について

第8号議案 「業務受託保育園並びにみなみかも保育園運営規程」の一部改正について

- 第1号報告 「令和5年4月1日付」人事異動について
第2号報告 「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）認定について
第3号報告 「令和4年度プレミアムこっころカンパニー（3回目／殿堂入り）」受賞について

2. 評議員会

- <第1回 令和4年6月23日（木）10時00分～10時45分>
報告及び議事
第1号報告 令和3年度事業報告について
第1号議案 令和3年度決算について
監事監査報告

3. 内部監査会

- <令和4年5月23日（月）13時30分～14時30分>
議事
令和3年度決算内部監査

4. 監事監査会

- <令和4年5月27日（金）13時00分～17時20分>
議事
令和3年度決算監事監査

5. その他

- <運営連絡協議会（法人管理職会）>
参加者 理事長（本部長）・岩田理事・園長
開催数 12回
- <衛生委員会>
参加者 産業医（雲南省立病院・大谷病院事業管理者）本部長・衛生管理者・看護師
開催数 12回
- <環境衛生検査>
内 容 学校保健安全法に基づく環境検査測定（照度・水質・ホルムアルデヒド・放射線測定）／上代 茂 評議員様ご協力の下、かもめ保育園／大東保育園／みなみかも保育園で実施
- <令和4年度入職員（保育補助）採用試験>
日 時 令和4年5月25日
場 所 法人本部

結果 1名採用

○<令和4年度入職員（栄養士）採用試験>

日 時 令和4年 5月28日

場 所 法人本部

結果 1名採用

○<令和5年度入職員（保育士及び栄養士）採用試験>

日 時 令和4年9月24日

場 所 雲南市大東地域交流センター

結果 保育士2名、栄養士1名採用

○<令和4年度正職員転換試験>

日 時 令和5年1月28日

場 所 法人本部

結果 1名転換（応募者数1名）

○<登録／認定／受賞>

(1) 名 称 「令和4年度島根労働局長安全衛生表彰 奨励賞」

受賞日 令和4年11月9日

(2) 名 称 「令和4年度健康づくり活動表彰事業 県会長賞」

受賞日 令和4年11月30日

(3) 名 称 「令和4年度プレミアムこっころカンパニー（3回目／殿堂入り）」

認定日 令和5年1月18日

(3) 名 称 「健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）」

認定日 令和5年3月8日

以 上

令和4年度 法人本部 研修報告

月	日	研修名(研修内容)	講師名	会場	参加者	備考
4	22 (金)	ごうぎんビジネスマナー研修		法人本部会議室	2名	オンライン
5	21 (土)	人権研修（ジェンダにとらわれない考え方・生き方）	キヤリアコンサルタント 福間祐子氏	加茂交流センター 各園	全員	・加茂C…6名 ・各園…全職員
5	30 (月)	継続雇用者のキャラクア形成と管理者の役割	1日目	有限会社willさんいん 代表取締役 金築理恵氏	加茂交流センター	8名
6	13 (月)	継続雇用者のキャラクア形成と管理者の役割	2日目	有限会社willさんいん 代表取締役 金築理恵氏	加茂交流センター	8名
6	18 (土)	発達障がいへの理解	落語家 柳家花緑	古代鉄歌謡館	5名	島根ボリテク研修
7	12 (火)	スキルアップ講座「しまね働く女性きらめき応援塾」	キヤリアウイーぶ 竹本記子氏	加茂交流センター	4名	しまね女性センター
8	26	就学前子育て講演会	加茂小学校 校長 村尾 隆晃氏	加茂交流センター	10名	
9	20 (火)	発達障がい講演会	島根県立大学 准教授 西村 健一氏	大東交流センター	5名	3C「夢」クラブ
10	28 (金)	ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）組織マネジメント 第1日目	中小企業診断士 岩本 大輔氏	島根ボリテク研修	9名	島根ボリテク研修
11	1 (火)	コーチングを学ぶ	株式会社BEANS 代表取締役 遠藤 尚子氏	加茂交流センター	8名	
11	24 (木)	ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）組織マネジメント 第2日目	中小企業診断士 岩本 大輔氏	加茂交流センター	9名	島根ボリテク研修
12	25 (金)	業務効率向上のための時間管理	有限会社willさんいん 代表取締役 金築理恵氏	加茂交流センター	8名	島根ボリテク研修
12	7 (水)	スキルアップ講座「しまね働く女性きらめき応援塾」	キヤリアコンサルタント 柴田朋子氏	タウンプラザ島根	2名	しまね女性センター
2	22 (水)	ハラスメント研修	Terrastory株式会社 代表 寺本健太郎氏 顧問 戸谷弘明氏	法人本部会議室	9名	

令和4年度 雲南市立かもめ保育園事業報告

1. 保育の理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

子ども一人一人の育ちを支え、保護者・地域と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。

【保育目標】

心身ともに健康で、主体性のある子どもを育む

【めざす子ども像】

- ・なんでも食べる丈夫な子
- ・自分のよさに気づき、自信をもつ子ども
- ・自分の思いや考えを表わす子ども
- ・人、もの、ことに意欲的にかかわる子ども

【保育方針】

○丈夫な体作りと基本的生活習慣の獲得

子ども達がこれから的生活を健康に過ごしていくために家庭と連携して、「しっかりと食べる」「ぐっすり眠る」「いっぱい遊ぶ」というリズムを整え、丈夫な体をつくっていく。また、より良い生活に必要な基本的生活習慣が身につくよう低年齢からの継続した取り組みを行っていく。

○豊かな人間性の育成

0~5歳児までの6年間の成長発達を捉えた全体計画をもとに、一人一人に即した支援や、それぞれの学年の育ちに即した保育をする。安心感を基盤に豊かな心情や思考力の芽生えを培い、主体性のある子どもの育成をめざす。

○信頼される保育園

地域のひと・もの・こととの出会いを大切にし、保護者や地域の方々の協力を得ながらいろいろな人とのかかわりや多様な体験を通して故郷を愛し、しなやかに生き抜く力をもった子どもの育成をめざす。また、地域に親しまれる保育園になるよう努める。

2. 園児数

(1) 定員数 90名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和4年4月1日	4	18	14	17	17	16	86
令和5年3月31日	15	18	13	17	17	16	96

3. 職員体制

職員28名（正職15名）

・園長 　　　・主任保育士 　　　・保育士19名（内、1名産休） 　　　・子育て支援員1名
・看護師1名 　・栄養士2名 　　　・調理師2名 　　　・事務員1名

嘱託医1名

嘱託歯科医1名

4. 健康支援と安全

◎健康支援

- ・感染予防のための衛生管理の徹底を行った。特に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温や手指消毒、共有する物や場の消毒、換気を徹底した。7月下旬に園内でのコロナ感染者が増え4日間臨時休園となった。その後園の関係者が濃厚接触者に特定されることが時々あるが、園内で広がることはなく落ち着いている。
- ・保健指導…「看護師さんの話」の日を設け、3～5歳児対象に健康な生活を意識できるようにした。感染症対策（手洗い、咳エチケット、マスクについて）、熱中症予防、基本的生活習慣、ケガや体の話（歯、目）、いのち（誕生）の話等
- ・欠席状況、感染症発生状況を確認し、保護者に情報提供（掲示や保健便り）をした。
- ・個々の成長及び健康管理を行い、成長曲線を作成し保護者と共通理解を図った。
- ・基本的生活習慣の確立のため、かもめっこ元気モリモリ大作戦（年3回、6月、12月、2月）を実施した。1回目の達成率が低く、2回目は挑戦項目の中から親子で「これをがんばるぞ」という項目を一つ決め、挑戦できるようにした。結果、意識できたことで達成率が上がってきた。
- ・嘱託医による健診（内科：9月、3月予定　歯科：9月）を実施した。

◎安全管理

- ・事故発生時の対応、防災対策、安全管理等に関するマニュアルを全職員が確認し、危機的状況が発生した場合にはそれに従って素早く体制がとれるようにした。
- ・園舎内外の安全点検、危険個所の改善、災害発生時の訓練を行うなど安全対策に努めた。
安全点検（毎月）を実施し、修繕箇所は速やかに対応した。
ヒヤリハットによる安全対策の重視と共通理解（随時）を図った。
災害時等想定の避難訓練を毎月実施した。

火 災：4月、5月、8月、10月、11月（消防署来園）、3月

地 震：9月、2月

風水害：6月　　雪害：12月

不審者対応訓練：7月、1月

交通安全教室　5月（大東駐在所さんの指導）9月（職員による指導）

非常食の備蓄と管理をした。

* 11月の消防署の指導（職員の消火訓練）により大きな声で周りに知らせる、確認合うことの大切さを改めて学んだ。

◎食育の推進

- ・地産地消を積極的に取り入れ、旬の食材を使った米飯を中心とした食事で、子どもたちが「心身ともに健やかに成長し、おいしく食べられる安心、安全な手づくり給食」を提供した。
- ・アレルギーのある子どもに対しては、完全除去食を提供した。保護者と情報共有し、一人一人の状態に合わせ、栄養士と看護師、保育士の連携のもと適切に対応した。
- ・園生活の中で「食」への興味関心をもち、より良い食生活の習慣が身につくように年間食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かした。

《食育のつどい》

3～5歳児を対象に実施（毎月）した。（飲み物について、元気なうんち、よく噛んで食べる、食べ物の働きを知る、感謝して食べる等）その内容を掲示版やHPで知らせたり、給食便りでレシピなど発信したりした。

《行事食、郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）等》
伝統料理を調べたり新メニューを取り入れたりして子どもたちの「食」への興味関心を促した。

《栽培物のクッキング》

調理と保育の立場から検討し、クッキングを実施した。

5. 子育て支援

◎園開放

- ・地域の子育て支援として、毎週金曜日を園開放デーとし、希望者には給食を提供した。その機会に子育ての相談や食育相談（離乳食の進め方）等を受けた。また、来年度入園を検討される方が園舎内見学をされた。

◎一時預かり

- ・市内の保育施設に入園されていないお子さんを、月12日以内の利用で育児支援を行った。就労のための利用や急な保育が必要となり利用される方に対応した。

◎延長保育

- ・仕事等により時間内に迎えに来られない場合、園で預かった。
(標準時間保育：18:30～19:00 短時間保育：7:30～8:30 16:30～18:30)

6. 保護者との連携

- ・日々の送迎時や連絡ノート、個人面談やクラス懇談会等で保護者の思いや悩みを出せるよう笑顔で挨拶したり声をかけたりするよう心がけ、信頼関係を構築できるように努めた。コロナ対策のため玄関対応になり直接保護者と話す機会が減ったが、努めて声をかけるようにした。
- ・自由参加型の保育公開日（月1回）を設け、保護者が保育園に来て子どもの様子を見たり一緒に遊んだりできるようにした。希望があれば給食の試食ができるようにした。毎月10人ぐらいで、父母、祖父母の参加があった。
- ・園便り、かもめっこ便り（園長だより）、クラスだより、保健だより、給食だより、HP等、各自の専門性を活かした情報発信や保育方針に基づいた保育の様子を伝えるように努めた。また、今年度よりFacebookやInstagramを活用し園の様子が伝わるように努めた。
- ・PTA活動は評議員さんを中心に内容や方法を検討し、実施に向けて企画した。
夏祭り…評議員参加で実施する予定だったが、園内のコロナ感染拡大により延期し、子どもと職員のみで実施した。

運動会…3・4・5歳児対象に園庭で実施した。0・1・2歳児はクラス別に保育公開日を設け、親子でのふれあい遊びを実施した。

子育て講演会…クラス別に実施し、講師を招いて年齢に応じたお話をしてもらった。

保育士体験…焼き芋体験と一緒にした。参加者5名

環境整備作業…7/23、9/24 実施

- ・年度末に園運営についてのアンケートをとり、その結果を踏まえ保護者の要望に対する改善努力を図った。

7. 職員の資質向上

職員の資質向上のため年間研修計画を作成し、研修の実施及び研修の機会を確保した。研修後は復命により全職員の共通理解を図った。

◎園外研修

- ・県・市・社協等主催の研修（キャリアアップ研修等）
- ・県保育協議会の研究大会や研修、雲南保育協議会の保育公開や研修会等

◎園内研修

- ・愛耕福祉会主催の研修（人権研修、AED等）
- ・講師を招いての園内研究会
- ・エピソード研修、教材研究(絵本)

*職員の自ら学びたいという意欲を大切にし、受けたい研修を決めてもらった。中にはコロナ禍のため中止になった研修があるが、その研修の資料等を送ってもらうなど考慮してもらい今後の保育に活かすことができた。

8. 他園・小学校等との連携

◎他園との交流

- ・大東保育園、みなみかも保育園との交流（5歳児）
丸子山公園での遊び
八雲山登山…雨天のため、加茂B&Gラソンテで運動あそびをする。

◎小学校との交流

- ・阿用、佐世、西、大東、加茂小学生との交流は学校によって1日入学に合わせて計画されているところがあったが、コロナの状況で中止になったところもあった。
*小学校の先生のフォローアップ研修を受け入れた。
小学校より5歳児の様子を見学するために来園、また自園の職員が小学校の研修会に参加する等、職員の交流を実施した。

◎中学生との交流

- ・夢発見ウィーク（職場体験）…大東中学生3名
- ・ボランティア…夏休みを利用して来られる予定だったが、コロナの感染状況により中止。冬休みを利用して2人来られる。
- ・三刀屋中生吹奏楽部のミニコンサートを実施。

◎高校生との交流は実施しなかった。

◎大東中学校校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育推進

「心豊かでたくましく生きる力をもった子どもの育成」のために連携を図った。

- ・大東中学校区学校運営協議会に参加。（7/12 12/16 3/1）
小学校、中学校の授業見学に参加予定だったがコロナの状況により参加できなかった。
- ・大東中学校のテスト期間に実施されるメディアコントロールウィークの取り組みに合わせて、『かもめっこ元気モリモリ大作戦』週間を実施した。（3回）

9. 地域との連携

地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進した。

- ・飯田寿会さんとの交流…芋苗植えや芋ほり
- ・アヨ有機農法塾さんとの交流…餅つき
- ・野菜作りの名人さんとの交流…野菜作りの相談、畑の見学。大豆の豆だし作業を教えてもらう。
- ・米農家さんとの交流…米ができるまでのお話を聞く。
- ・宮内舎さんとの交流…味噌づくり
- ・WoodPartyさんによるワークショップ…修了記念品（スプーン）作り
- ・地域での体験（柿採りや田んぼでの遊び、筍掘り）をさせていただいた。
- ・大東よいとこ祭りに参加（4、5歳児）予定だったが中止。
- ・加多神社節分祭に参加（5歳児）

10. 保育に関する評価

◎園評価

園の保育目標から取り組み内容をクラス毎に評価し、保護者のアンケート結果（2月下旬）と合わせて園全体の評価を行った。それを次年度に活かす。

◎自己評価

昨年度の振り返りから今年度の個人目標を明らかにし、評価を行った。また、評価項目に基づいて年2回、自己評価を実施。自己評価を踏まえ園長との面談を行い、更なるスキルアップに活かす。

令和4年度 雲南市立かもめ保育園 園児数の推移 (3月末時点)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	5	18	14	17	17	16	87
5	8	18	14	17	17	16	90
6	6	18	14	17	17	16	88
7	10	18	14	17	17	16	92
8	11	18	14	17	17	16	93
9	11	18	14	17	17	16	93
10	13	18	13	17	17	16	94
11	14	18	13	17	17	16	95
12	14	18	13	17	17	16	95
1	14	18	13	17	17	16	95
2	15	18	13	17	17	16	96
3	15	18	13	17	17	16	96

令和4年度 雲南市立かもめ保育園 利用状況

延長保育			
月	登録者	利用日数	利用延べ人数
4	23	5	12
5	25	9	9
6	27	8	12
7	27	8	12
8	29	5	6
9	29	8	16
10	30	7	7
11	34	9	18
12	34	13	18
1	34	15	17
2	34	16	25
3	34	10	11
合計	34	113	163

一時保育		
月	開所日数	利用延べ人数
4	4	4
5	3	3
6	4	4
7	1	1
8	2	2
9	4	4
10	8	10
11	10	13
12	6	6
1	5	5
2	8	8
3	9	11
合計	64	71

土曜保育利用状況		
月	登録者数	利用延べ人数
4	28	53
5	28	56
6	30	42
7	29	56
8	29	33
9	32	52
10	33	73
11	33	69
12	35	47
1	35	62
2	34	55
3	34	48
合計	34	646

園開放実施状況		
月	利用日数	利用延べ人数
4	2	5
5	2	2
6	1	1
7	1	2
8	3	3
9	3	4
10	4	7
11	2	5
12	1	1
1	1	1
2	3	6
3	3	5
合計	26	42

令和4年度 職員研修参加表（3月31日現在）

雲南省立かもめ保育園

雲南省子どもも政策局	市幼・こ・保ブロック研修	その他の研修	社会福祉協議会	園内研修会	大東保育園研修会
『夢』祭見プログラムや幼稚園運動プログラムについて	Bブロック保育研修 (三刀屋保育所)	発達障がい基礎講座 乳幼児期	保育士キャリアアップ研修 【障がい児保育】	0、1歳児 りす ひよこ組 6名	1歳児 (いちご組) 1名
島根県幼児教育振興プロジェクトについて	Bブロック保育研修 (大東こども園)	社会保険事務初任者講座	保育士キャリアアップ研修 【保険衛生・安全管理】	1歳児 うさぎ組 11名	2歳児 (ぶどう組) 1名
保育の中の音楽遊びについて	Bブロック保育研修 (田井保育所)	歯科保健従事者研修 (WEB)	保育士キャリアアップ研修 【保育実践】	2歳児 ぱんだ組 10名	3歳児 (みかん組) 1名
愛着形成に課題のある子どもの理解と支援	Bブロック保育研修 (斐伊保育所)	気になる子への支援方法の見つけ方	保育士キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	3歳児 こあら組 12名	4歳児 (ばなな組) 1名
実技研修「た(楽しく)、た(たくさん)、た(多様)で運動遊	Bブロック保育研修 (かもめ保育園)	「社会保険と労働保険について」講座	保育士キャリアアップ研修 【食育・アレルギー対応】	4歳児 きりん組 (2回) 9名	5歳児 (めろん組) 1名
実技研修「音・音楽を用いた米穀学児の活動～有効な使う方法～」	2名	生きる力を育む歯・健康づくり推進事業研究発表会	保育士キャリアアップ研修 【乳児保育】	5歳児 ぞう組 (2回) 9名	8名
雲南保育協議会研修					
療育を語る会	1名	県保育協議会研修	女性リーダー養成講座	中堅職員スキルアップ研修Ⅰ 1名	みなみかもめ保育園研修会
保健を語る会	2名	主任保育士・主幹保育教諭研修 (WEB)	「うらじの町」でも相談窓口ネットワーク事業研修会	中堅職員スキルアップ研修Ⅱ 1名	2歳児 (たんぽぽ組) 1名
調理担当者会	1名	食育推進研修 (WEB)	4名	キヤリアパス初任者コース 1名	5歳児 (ひまわり組) 1名
実技研修「運動遊び」	1名	保育士・保育教諭スキールアップ研修 (WEB)	4名	労務管理者研修 1名	
保育士会研修「メンタルヘルス」	1名	保育者研修	1名		
雲南Bブロック研修「日頃の保育を語る会」	2名	島根県保育研究大会	2名		
公開保育 阿井保育園	2名	施設長研修会	1名		
公開保育 木次こども園	1名	NPO法人アレルギーを考える母の会主催オンラインセミナー		教育委員会	人権研修 27名
公開保育 来島保育所	1名	食物アレルギー治療の最新知識と透析なエビデンス	1名	人権同和教育研修会性の多様性に係る指導について)	ハラスメント防止 2名
		小児アレルギー疾患の正しい病態理解と透析な対応	2名	教職員人権・同和教育懇話会	継続雇用のキャリア形成と管理者の役割 2名
全国保育士会		学校・保育所での食物アレルギー対応と緊急への備え	1名	就学前人権教育講座	業務効率向上のための業務時間管理 2名
食育推進研修 (WEB)	1名				ビジネスとSDGs 2名
					健康講座 27名

令和4年度 雲南市立かもめ保育園 主な行事

月 日	内 容	月 日	内 容
	4 月		11 月
4日	入園のつどい	4日	親子遠足(5歳児)
5日	第1回PTA評議員会	7日	人形劇観劇会(4・5歳児)
	5 月	10日	保育士体験 焼いも
9日	交通安全教室(大東駐在所より来園)	11日	避難訓練(消防署より来園)
23日	尿検査(3・4・5歳児)	4、25日	運動遊び(5歳児)
26日	芋苗植え(飯田寿会さんと交流)	16日	第2回元気モリモリ大作戦(20日まで)
	6 月		12 月
2、9日	子育て講話・クラス懇談会(4・5歳児)	5日	個人面談(3・4・5歳児 ～9日まで)
7日	笹巻づくり	13日	2歳児個人面談～15日まで
21日	第1回元気モリモリ大作戦(25日まで)	15日	野菜農家さんとの交流(5歳児)
21日	歯みがき指導(3歳児)	23日	クリスマス会
24日	歯みがき指導(5歳児)	27日	ミニコンサート(三刀屋高校吹奏楽部)
	7 月	28日	保育納め
11日	プール開き		1 月
15日	第2回PTA評議員会	4日	保育始め
23日	第1回環境整備作業	12日	餅つき(アヨ有機農法塾)
	8 月	27日	ぞう組修了記念品スプーンづくり(5歳児 Wood Party 錦織さんと)
13日	盆希望保育(15日まで)		2 月
17日	かもめまつり	1日	味噌づくり(4歳児 宮内舎 小倉さんと)
18、30日	B & Gプール遊び(5歳児)	3日	節分の集い 加多神社節分祭(5歳児)
23日	B & Gプール遊び(4歳児)	14日	第3回元気モリモリ大作戦(18日まで)
31日	歯みがき指導(4歳児)	18日	かもめっこ発表会(3・4・5歳児)
	9 月	18日	進級説明会・次年度評議員選出(3・4歳児)
5日	子育て講話・クラス懇談会(3歳児)	21日	保育公開日・進級説明会・次年度評議員選出(2歳児)
8日	内科健診	28日	保育公開日・進級説明会・次年度評議員選出(1歳児)
8日	交通安全教室		3 月
14日	歯科検診	2日	保育公開日・進級説明会・次年度評議員選出(0歳児)
22日	第3回PTA評議員会	3日	PTA監査会
24日	第2回環境整備作業	9日	ぞうぐみさんありがとうパーティー
	10 月	9日	令和5年度新入児入園前説明会・継続児健康診断
1日	親子運動会(3・4・5歳児)	24日	令和4年度修了証書授与式
7日	わくわくうんなんピック(3・4・5歳児)	30日	保育修了・おわかれのつどい
14日	保育公開日・子育て講話(2歳児)	31日	年度末希望保育
19日	芋ほり(飯田寿会さんと交流)		毎 月
20日	歯みがき指導(4・5歳児)	☆誕生会	☆保育公開・給食試食
21日	保育公開日・子育て講話(1歳児)	☆発育測定	☆看護師さんの話
26日	保育公開日・子育て講話(0歳児)	☆弁当日	☆食育のつどい
		☆避難訓練(火災・地震・不審者他)	
		☆園開放デー(毎週金曜日 4月より実施)	

令和4年度 だいとう病児・病後児保育室 事業報告

1. はじめに

令和4年度は、「だいとう病児病後児保育室」(つくし)事業を雲南市より受託し5年目、「だいとう病後児保育室」より実質事業継続14年目となった。今年度は新型コロナウィルス感染症の長引く影響により7月に3日間休室となつたが、職員・利用者とも感染者を出すことなく、その後も施設運営を継続することができた。

また利用者数は上気道炎等の呼吸器疾患の利用が多く、登録者数・利用者数とともに事業開設以来過去最多となつた。新型コロナウィルス感染症の規制緩和と5月より5類引き下げが実施される中、今後も感染状況や利用者の感染対策に留意し事業を継続する必要がある。

2. 利用者の実態・・・別紙資料①参照

・今年度延べ利用者数は347名で、前年度より77名増えた。利用者数の増加に伴い登録申請数も172名となつた。これらは様々な感染症の流行が影響していると考えられる。5月下旬から感染性胃腸炎、6月中旬にRSウイルス感染症の流行があり利用希望者が急増した。6月の利用者数は49名で月別利用者数過去最多となつた。9月から12月にかけてもコンスタントに利用があり、10月の稼働率は100%だった。一方で新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、休室や雲南市以外の児童の受け入れを一旦中止したことなどから、7月の利用者数はわずか2名だった。

・今年度利用不可人数は45名で前年度の29名から増加した。特に利用者数の多かった6月は11名の利用不可があった。感染症の流行により利用希望が集中したことが理由として考えられる。感染流行時に定員を超える希望がある場合、他施設と連携しても予約がいっぱいで断られるケースが多かった。前年度と比較すると人員確保が難しく利用を断るケースは少なかつた。

また利用当日の朝予約をキャンセルするケースが78件あった。キャンセルの連絡がないケースもあり、当日のキャンセルの理由は児童の体調の改善や家族が看ることになった等であった。キャンセル待ちがある場合、キャンセルが早く分かれば利用不可数を減らすことができると予測されるが、現時点の予約方法では難しく今後の課題である。

・利用者の病児・病後児の割合は病児約3割、病後児約7割だった。前年度と比較すると病後児の割合が増加している。しかし病児・病後児の区別は診察時の状況であるため、利用時とは病状の異なるケースも少なくなかつた。

・隔離と隔離不要の割合は、隔離不要が前年度に比較し増えた。隔離不要の場合でも、病状や病名によって隔離が必要と思われるケースがあり、児童の安全面を考慮し対応した。

・利用者の居住地は大東町が半数を占めていた。また保護者が雲南市内に勤務しているため、奥出雲町からの利用が増加した。

- ・利用者の年齢は1歳児が約37%、2歳児が約30%と多かった。前年度と同様で1歳児は育休明けから所属施設で感染症に罹患するケースが多いためと思われる。0歳児は育休中の場合が多く利用は少なかった。
- ・利用の多い疾患は上気道炎が、全体の半数を占めていた。呼吸器疾患による利用者が多く、気管支炎や喘息性気管支炎等の呼吸器疾患を含めると全体の約6割を超えていた。今年度は感染性胃腸炎やRSウイルス感染症の流行、11月から12月にかけてヒトメタニューモウイルス感染症の流行が見られた。前年度流行した水痘や手足口病の利用者は少なかった。また全国的にインフルエンザの流行がみられた。当施設ではインフルエンザの児童の利用を解熱後に制限していることから、今年度の利用者数は6名だった。
- ・利用者の所属先はかもめ保育園と大東保育園で半数以上を占めており、加茂こども園、布勢幼稚園、三刀屋保育所と続いた。
- ・利用者数は延べ347名で、利用実人数63名、世帯数は50世帯だった。利用回数の多い児童は23回にのぼり、同じ児童や兄弟姉妹での利用が多かった。一度利用するとそのまま続けて利用するケースが多かった。
- ・定員4名のところ、今年度は3名または4名の受け入れが増加した。3名が36日、4名が19日で全体の約1/3となった。一方複数の児童を受け入れる場合は、人員確保と今まで使用頻度が低く整備されていなかった第3保育室の環境整備も必要となってくる。

3. 今年度の活動

- ・利用者一人ひとりに合った個別保育を行い、ほとんどの児童が無事回復への経過をたどった。病状により途中で保護者に連絡を要するケースは13件あったが、受診または早迎えとなったケースは少なかった。理由は経口摂取不良や高熱持続、呼吸器症状の変化等であった。また病状の急変や事故により緊急の対応が求められるケースは認められなかった。
- ・雲南市子ども政策課と雲南市立病院の小児科との連携体制を整えた。4月に実施した雲南市立病院小児科瀬島医師との面談により、受け入れ可能な病状や隔離が必要な疾患について確認し、受け入れ態勢を充実し利用不可を減らす取り組みに繋げた。
- ・複数の児童をひとりの職員で保育する時間を減らすよう、態勢を整え安全な保育を実施した。
- ・保育室の安全に配慮し、児童のけががないように角部にクッション材の取り付けや老朽化したカーペットカバーの交換を実施した。また防犯対策の強化として、1月玄関にインターホンを設置し、児童の送迎時の対応がスムーズに行えるようになった。
- ・新型コロナウィルス感染症等の感染症予防ため、マスクの着用・手洗い手指消毒の励行・室内アルコール消毒・定期的な換気・アクリル板の使用・玩具の消毒等の予防対策を徹底した。またおむつ交換用の専用マットを購入し、所定の位置で排泄交換を実施することで、消毒が容易となり感染予防を徹底することができた。

- ・職員が共通の対応を実施できるように「つくしまマニュアル」を作成した。食物アレルギーの児童や服薬のある児童に対し、マニュアルに沿って対応し誤食や誤薬を防止した。
- ・事故発生時、火災発生時、災害時等の対応を周知し、非常用袋を設置した。非常用袋については定期的に点検をした。
- ・職員は新型コロナウィルス感染症やインフルエンザのワクチンを接種し、感染予防を行った。
- ・職員のスキルアップを図るため、「発達障害について」のリモート研修に参加した。
- ・今年度9月から12月にかけて利用者を対象にアンケート調査を実施した。1月にアンケートの集計を行い、解決できる課題について改善したが、容易に解決できない課題も多かった。・・・別紙資料②参照

4. 今後の課題と対策

- ・他園等に「つくし」を広く認知してもらうための取り組みを実施する。
- ・予約システムの導入について検討する。
- ・利用不可を減らすための取り組みを継続し、他施設との連携を強化する。
- ・定期的にアンケートを実施し利用者の満足度やニーズを把握し、課題を改善する。
- ・雲南省立病院・指導医との連携体制を強化し、新型コロナウィルス感染症の受け入れや感染予防対策について検討する。
- ・利用者数増加に伴い第3保育室や駐車場の環境整備を行う。保育室の環境を整え人員を確保し、隔離が必要な児童への対応を徹底し、二次感染を予防する。
- ・「つくしまマニュアル」を整備し、けいれん発作時のマニュアルを作成する。
- ・個別的な病児保育を実践するために職員のスキルアップを図る。

以 上

令和4年度 だいとう病児・病後児保育室事業報告 資料①

①利用月別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数	22	17	49	2	19	33	46	46	39	13	30	31	347
(給食有り人数)	21	16	46	2	19	31	44	46	39	12	26	27	329
利用不可人数	0	1	11	0	1	3	7	7	11	0	2	2	45
稼働率[%]	60.0%	57.9%	77.3%	11.8%	57.1%	85.0%	100.0%	90.0%	80.0%	47.4%	84.2%	81.8%	70.3%

②利用不可人数の推移

利用不可人[名]	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録者数	85	76	18	10	3	29	45

定員2名 定員4名

③登録者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	66	22	15	1	11	18	9	5	8	2	13	2	172

④年度毎登録人数・利用人数の推移

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
登録人数	63	50	71	79	79	149	134	162	156	107	154	172		
利用人数	77	102	160	210	224	273	196	304	258	147	270	347		

病後児
保育所
開設
「たんぽぽ」
三刀屋
病児・病後児
保育室
開設

⑤利用者の病児・病後児の区分

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
病児	6	7	9	2	4	9	5	22	11	3	15	12	105	30.3%
病後児	16	10	40	0	15	24	41	24	28	10	15	19	242	69.7%

隔離
「たんぽぽ」
三刀屋
病児・病後児
保育室
開設

⑥利用者住居別人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
大東	11	6	42	0	6	20	27	20	18	9	13	17	189	54.5%
木次	3	4	5	0	10	8	12	11	13	1	0	3	70	20.2%
加茂	3	1	2	0	2	5	0	2	1	1	5	3	25	7.2%
三刀屋	5	4	0	2	1	0	6	4	0	1	0	4	27	7.8%
市出雲市	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0.9%
松江市	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0.6%
奥出雲	0	0	0	0	0	0	0	9	7	1	10	4	31	12.6%
合計	22	17	49	2	19	33	46	46	39	13	30	31	347	

⑦年齢別利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%	
0歳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	6	0.2%	
1歳	8	12	24	2	8	9	13	16	9	4	14	8	127	36.6%	
2歳	5	4	14	0	4	12	14	16	14	4	6	11	104	30.0%	
3歳	6	0	11	0	1	7	6	0	7	3	0	2	43	12.4%	
4歳	2	0	0	0	1	1	2	4	4	1	3	5	23	6.6%	
5歳	1	0	0	0	3	3	6	7	1	0	0	2	23	6.6%	
6歳	0	0	0	0	1	1	5	1	3	0	1	0	12	3.5%	
7歳	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3	0.9%	
8歳	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	4	1.2%	
9歳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0.6%	
10歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	
合計	-	22	17	49	2	19	33	46	46	39	13	30	31	347	

⑧利用者の多い病名・病状

症狀	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
													%		
上気道炎	5	10	18	0	9	21	24	31	10	3	9	20	160	46.1%	
上気道炎(ヒトメタニニューモ)	0	0	0	0	0	0	0	7	9	0	0	0	16	4.6%	
気管支炎・肺炎	0	0	0	0	4	4	5	1	14	0	1	3	32	9.2%	
喘息、喘息性気管支炎	2	0	0	0	0	1	1	3	1	0	1	0	9	2.6%	
感染性胃腸炎	10	5	21	0	2	2	4	0	0	6	9	3	62	17.9%	
RSウイルス感染症	0	0	10	0	2	3	0	0	0	0	0	0	15	4.3%	
中耳炎	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.6%	
溶連性感染症	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	8	2.3%
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	6	1.7%	
手足口病	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0.9%	
アデノウイルス感染症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	4	1.6%		
アナフイラキシー	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.6%	
クループ症候群	0	0	0	0	0	2	1	3	0	0	0	0	6	1.7%	
化膿性リンパ節	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%	
アレルギー性鼻炎	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0.9%	
右腓骨遠位端剝離骨折	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	6	1.7%	
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.6%	
発熱	1	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	5	1.4%	
下痢	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3	0.9%	
嘔吐	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0.6%	
合計	22	17	49	2	19	33	46	46	39	13	30	31	347		

⑨利用者所属保育園・こども園・小学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%
かもぬ保育園	9	5	40	0	15	15	6	1	16	4	1	4	102	29.4%
大東保育園	3	0	4	0	6	7	21	17	7	5	5	10	85	24.5%
あおぞら保育園	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3%
みなみがも保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.3%
加茂こども園	5	3	2	0	4	6	1	9	1	0	3	3	37	10.7%
たちばら保育園	0	2	3	0	0	0	0	1	0	1	7	2	16	4.6%
三刀屋保育所	5	4	0	2	0	0	3	4	0	1	0	4	23	6.6%
あすなろ保育園	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木次こども園	0	1	0	0	4	0	6	2	4	0	0	1	18	5.2%
四つ葉学園保育所	0	0	0	0	3	2	8	0	4	0	0	2	19	5.5%
加茂小学校	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	5	1.4%
斐伊保育所	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0.6%
みつき田和山第2保育園	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.3%
布勢幼稚園	0	0	0	0	0	0	0	9	6	1	8	4	28	8.1%
布勢小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0.9%
大東小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.3%
塩治小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0.6%
合計	22	17	49	2	19	33	46	46	39	13	30	31	347	

⑩利用回数別人数・利用実人数

利用実人数		
63名		
50世帯		

利用回数	人数	利用回数	人数	利用回数	人数
1回	18	7回	1	14回	1
2回	8	8回	7	20回	1
3回	9	9回	1	22回	3
4回	5	10回	2	23回	1
5回	2	11回	1		
6回	1	12回	2		

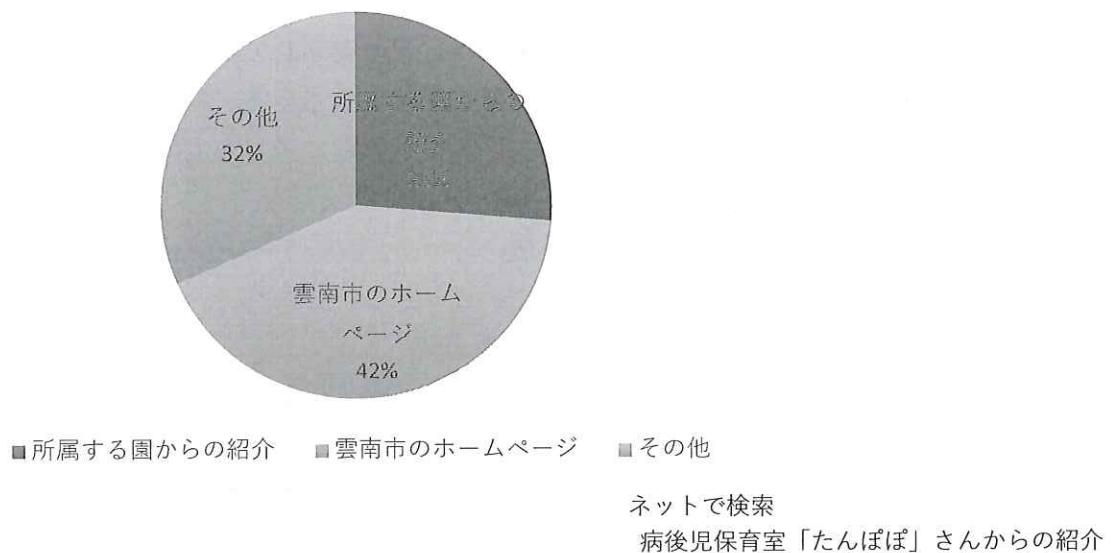
⑪利用受入人数別日数・利用実日数

受入人数	日数	%	稼働日	利用実日数	稼働率
1人	64	38.1%	239日	168日	70.3%
2人	49	29.2%			
3人	36	21.4%	当日キャンセル 保護者連絡	79件	
4人	19	11.3%	13件		

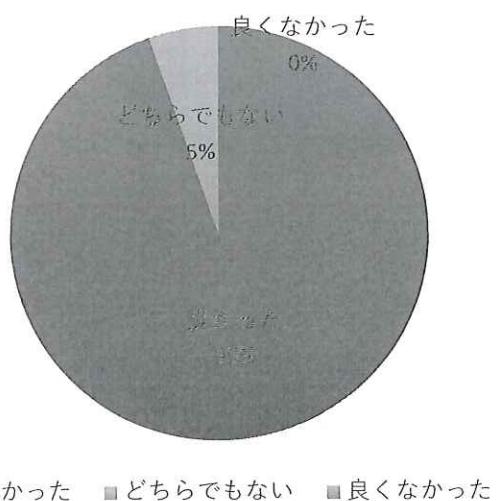
令和4年度 だいとう病児・病後児保育室事業報告 資料② アンケート集計結果

回収率 61.3% (19/31)

1. 当施設をどこでお知りになりましたか？



2. お子さんを預けて良かったですか？

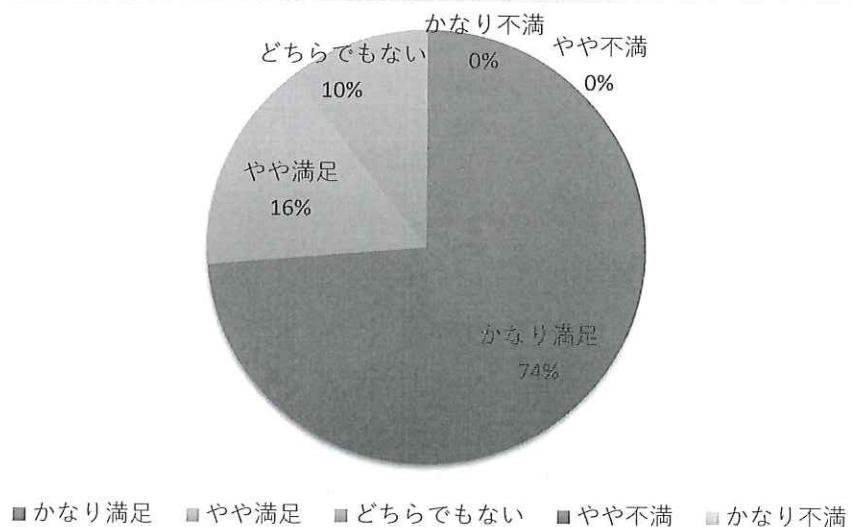


良かった、悪くなかった理由は何ですか？

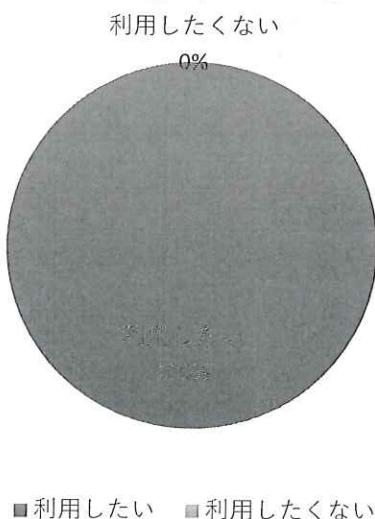
- 仕事を休まなくてすむ。8時から18時という時間設定がとてもありがたい。
- 病気の子の看護をしたいが仕事を休まなければならず、預けて良かったと思った。
- 両親ともに勤めに行くことができ、子どもも楽しく過ごせてありがたい。
- 入所時すぐに体調を崩し仕事を休む日が続き業務上厳しい中で、預かってもらえる人がいることは核家族にはありがたい。
- 出勤できたこと、介護できたこと。様子を細かく教えてもらえて安心。
- 続けて仕事を休まずにすんだ。看護師がいて安心。
- 看護師がいて安心して預けることができる。丁寧な保育で、連絡票も詳しく書いてあり安心して仕事ができる。
- 事細かに連絡票に様子が書いてあり、どのように過ごしたかが手に取るように分かり安心

- する。保育園の連絡ノートに貼り情報共有も出来ている。
- ・帰る際に連絡票で一日の様子を教えてもらえるのが良い。
 - ・微熱があり体調に不安だったが、回復するまで預かってもらえた。
 - ・病気で療養中の子を預かってもらえる施設が、雲南省で「つくし」のみのため。
 - ・回復しつつあるが集団生活は難しいときに安心して預けて仕事ができた。初めて行った時も落ち着いて過ごせた。頓服薬を服用してもらえる。給食がある。病児もみてもらえる。
 - ・病児でも預かってもらえ助かる。部屋も個別で子どもも家にいるような感覚で療養できたと思う。
 - ・子どもが安心して過ごせていた。

3. 職員の対応についてご満足いただけましたか？



4. 今後も利用したいと思いますか？



5. どうすればもっと利用しやすくなると思いますか？

- ・松江「つわぶき」のように7：45から診察、8：00から病児保育だと、朝の急な発熱時でも仕事を遅刻・早退せずにすむ。
- ・保育園と同じ時間7：00または7：30からの預かりだと勤めに間に合う。
- ・利用時間があと10分早くになると、8時30分の始業に間に合うと感じる。
- ・朝の受け入れ時間がもう少し早いと出勤しやすく、利用しやすい。
- ・開室時間を長くする（例えば7：30始まり、18：30終わり）。希望時だけでも延ばしてもらえたら助かる。
- ・朝7：30から夜18：30まで延長してもらえると、親の仕事への影響が少なくて済むのではないかと感じる。
- ・利用時間を延長料金ありでよいので長くなると良い。
- ・予約受付が電話一本のため、つながりにくい。インターネット予約や複数回線になると良い。
- ・利用状況が携帯等で分かるようなシステムがあればうれしい。流行時期は予約がとりにくく、休みの都合上すぐに分かると助かる。
- ・予約システムがあったら嬉しい。
- ・休日や時間外のや予約を電話またはメールで受け付ける。松江市では病児保育支援システムが始まっているようなので、雲南市にも検討してほしい。
- ・空き状況や予約がオンラインでできるようになれば、「つくし」の手間も保護者の利便性もアップすると思う。
- ・利用の予約をネットでできるようにすると、時間外でも申し込みできると思う。
- ・どんな症状の児童が利用しているかをリアルタイムで知りたい。別室で過ごすとはいえたることを覚悟しないといけないため。
- ・もう少し病児保育の施設を増やしたら利用しやすくなると思う。
- ・もう少し預かってもらえる人数を増やしてほしい。
- ・兄弟がいる場合、送りが大変。各保育園で病児の受け入れがあると便利で引継ぎもしやすいと思う。
- ・土曜日の利用もあると助かる。
- ・土曜の利用ができたり、予約方法や書類も簡単だとよい。
- ・申込書を毎回書くのが大変。スマホ等で簡単に入力できるとよい。
お茶やおしり拭き等、準備するものが少しでも減ると利用しやすい。
- ・診断書をもらいに受診する余裕がない時は、利用を諦めている。本当はもっと利用したいタイミングの時がある。
- ・払い込みが、コンビニやA T Mでもできると助かる。
- ・汚れ物を持参した袋に入れて返却してほしい。前回別にしてなかった。

6. その他ご意見・ご要望等ございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・周りの人からは「病気の子を預けるなんてかわいそう。自分で看護するべき・・」と言われるが、看護師さんや保育士さんが親切丁寧に看護してもらえるので大変助かっている。
- ・いつも記録が丁寧で、子どももうれしそうにしているので働く母の精神的支えになっている。本当に助かっている。
- ・「つくし」は母親にとって心の支えで、仕事を続ける上で欠かす事のできない存在。無ければ仕事を続けることはできなかったと思う。これからも頼りにしている。
- ・いつも細やかな配慮をしてもらい、安心してお願いできる。
- ・いつも丁寧に子どもを見てもらい、安心して預けることができる。
- ・子どもから「つくしに行きたい」というので、行きやすく過ごしやすい雰囲気であることが感じられ、安心して預けることができ仕事にも行くことができた。
- ・子どもの様子を丁寧に教えてもらいありがたい。
- ・子どもが病気になった際は毎回利用しており大変ありがたい。今後も利用したいので、事業を継続してほしい。
- ・急なお願いも快く受け入れてもらい、大変助かっている。
- ・キャンセル待ちにも対応していただき、とても感謝している。
- ・雲南市のホームページで部屋の様子や所在地の写真などが見れるとイメージがつきやすい。
- ・室内を見てみたい。
- ・玄関の防犯対策に不安がある。来訪者の確認ができないまま、ドアを開けなければいけないため、インターホンを設置するか、一部すりガラスに変更した方がよい。
- ・お迎え時ピンポンを何回鳴らしても応答がなかった。
- ・駐車スペースが分かりにくい。
- ・後期食はおやつ持参のため、おやつ代の減額があってもよいのではと思う。

令和4年度 雲南市立大東保育園事業報告

1. 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心をもち、たくましく生活していく子どもの育成』

＜めざす子ども像＞

- 明るく元気な子ども
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども
- 自ら考え行動する子ども
- 最後まで根気よく取り組む子ども

【保育方針】

○しなやかで豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた保育課程を基に一人一人に即した支援や、直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。

○たくましい身体の育成

地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人ひとりの育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるよう努める。

○信頼される保育園

地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかかわりや多様な体験を通して、故郷を愛し、しなやかに生き抜く力を持った子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

【めざす職員像】

『心の根っこを育む職員』

- 子どもの心情に寄り添い、主体的に生活するための手立てをする。
- 子ども成長を仲間や保護者と喜び合い、一人一人の子どもの明日を語り合う。

- 明るく感性豊かに子どもと向き合い主体的に行動する。
- 色々な機会を捉えて自己研鑽に努め、広い視野と質の高い専門性を備えた自分を創っていく。
- 保育士・看護師・栄養士・調理師・事務員それぞれが個々の専門性を生かし、協力し、認め合い、信頼し、人間性を高め合う。

2. 園児数

(1) 定員数 135名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和4年4月1日	4	22	21	21	24	23	115
令和5年3月31日	19	22	20	23	24	23	131

3. 職員体制（3月末）

(1) 大東保育園

職員31名（正職16名）

・園長1名 ・主任保育士1名 ・副主任3名 ・保育士17名（1名産休中）

・看護師2名 ・栄養士4名 ・保育補助2名 ・事務1名

※嘱託医1名 嘱託歯科医1名

(2) ファミリーサポートセンター本部

アドバイザー1名

4. 健康及び安全

(1) 健康支援

☆看護師の専門性を活かし、園児の健康増進や安全に対する取り組みを進めた。

①欠席状況、感染症発生状況、検温の確認（毎日）、与薬表の確認と与薬、保護者に速やかな情報提供及び健康相談（随時）

②個々の成長及び健康管理（毎月）

③基本的生活習慣の確立（生活リズム「元気モリモリ大作戦」）

④嘱託医による健診（内科…9月・3月 歯科…9月）

⑤健康や流行期の病気等の対応や予防など保護者への啓発。

⑥保健指導

・園児…3～5歳児対象に毎月1回「看護師さんの話」

・保護者…保健便りの発行（毎月）、動画による保健指導

・職員…Canvasさんによる健康指導、健康アプリの紹介、ストレスチェック、研修会の実施等

☆安全衛生部が主体となり、感染予防のための衛生管理の徹底をした。

①園舎内消毒、玩具消毒（毎日）

②換気（1時間ごと）

③手指消毒、手洗い指導

(2) 安全管理

☆事故発生時の対応・防災対策・安全管理等に関する研修等に積極的に参加し、危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるように復命を回覧するなどして職員全員が共通理解できるようにした。

☆園内外の安全点検・危険個所の改善・災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努めた。

①災害時想定の避難訓練の実施（毎月）

②交通安全教室（4月・9月） 不審者対応訓練（1月）

③安全衛生部が主体となり、ヒヤリハットによる現場検証等を通して隨時職員に周知し、安全対策に努めた。また、看護師を中心に熱性けいれんや怪我等の事故発生時対応の実地訓練を職員に行つた。

④栄養士が主体となり、アレルギー対応マニュアルを作成して職員に実地訓練を行つた。

⑤環境整備部が主体となり、定期的に破損した玩具がないか等点検し、整理したり子どもが自ら片づけやすいよう表示をしたりして園庭の環境を整えた。

(3) 食育の推進

☆食育計画に基づき、地産地消を主とした安心安全な食材を活かした献立の工夫と食事の提供をし、子どもが調理前の野菜に触れることができる“お野菜BOX”を設置したり、トビウオやサンマなど時季の魚を生の姿で見せたりして本物に出会う機会を作つていった。

☆アレルギーのある子どもに対しては、完全除去食を提供し保護者と情報交換を密にしながら、栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応をすると共に、全職員に事故対応を指導した。また調理方法を工夫し、普通食と見た目や味が変わらないものを提供した。また、毎月アレルギー食材を使用しない仲良し給食の日を実施した。

☆離乳食は初期から中期、後期、完了準備と細かく個々に応じたメニューを提供し、保護者面談や離乳食相談の機会を設けたりメニューを写真で伝えるなど家庭と園の連携を密にした。

☆食への関心が深まるよう栽培活動やクッキング、「食育のつどい」等を行つた。

①「食育のつどい」…3, 4, 5歳児対象（毎月）

②食への興味をもてるよう発達に応じた色々な野菜の栽培と、収穫した野菜を使ったクッキング。

③給食試食会（一定期間全保護者対象）の実施。

④食文化の伝承（干し柿や梅ジュース、干し大根作り）

⑤地域の方や祖父母さんとの交流（焼きサバ・笹巻き・焼き芋・餅つき等）

⑥畑の名人さんとの交流を通しての食育。

⑦飼育・栽培部が主体となり、畑や花壇の管理について職員に発信し、年間を見通した環境の維持。

⑧皮むきや野菜ちぎり、野菜BOXの設置等、普段から野菜に触れる時間、空間作り。

⑨誕生会や月見、クリスマスや節分など季節の行事を身近に感じられるようなメニューの提供。

☆給食便りやホームページ、インスタグラム、動画配信、壁新聞等使い、保護者へ食についての啓発をしたり、PTA事業の給食試食会を通して実際の給食を味わってもらう機会を設けた。

☆ぱくぱくミーティングを開き、調理と保育双方から食育について検討した。

5. 子育て支援

(1) 子育て支援

☆園長だより（毎月）・クラスだより（毎月）・保護者だより（随時）・保健だより（毎月）・食育だより（毎月）献立表（毎月）等、各自の専門性を活かした情報の発信に努めた。

☆視聴覚部が主体となりお楽しみ会を実施した様子やおすすめ絵本の紹介など、動画配信やにこにこ便りの発行を通して保護者に発信した。

☆地域の子育て支援として、毎水曜日、園開放をし、希望者には給食を提供した。また、その機会に子育て相談・食育相談等を受けた。

(2) 雲南市ファミリーサポートセンター（本部）

☆子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての援助を行う人（援助会員）とが会員登録し、育児の相互援助を行うことにより、安心して働いたり、子育てしたりしやすい環境を作った。

☆木次町・加茂町・大東町の会員募集・登録の手続き、依頼会員と援助会員とのコーディネート、三町の連携・調整、会員同士の親睦・研修等、円滑な運営をした。

①ファミサポ三町（大東・木次・加茂）連絡会、ファミサポだよりの発行（9月・1月・3月）、研修会（2月）、交流会（2月）

②保育所等の登園までの預かり。降園後の預かり。

③保育所等から自宅までの送迎。学校の放課後、児童クラブ終了後の預かり。

④自宅～さくら教室等の支援機関～保育所等への送迎。

⑤子どもの軽度の病気等臨時の・突発的な預かり。

⑥乳幼児健診、学校行事等の兄弟の預かり。

⑦冠婚葬祭のための預かり。

⑧仕事と育児の両立のために必要な援助。

⑨保護者のリフレッシュのための援助。

等

(3) 一時預かり

☆市内の保育園に在籍していない乳幼児を、月12日以内の利用で育児支援を行ったが、今年度もコロナウィルスの終息が見られず、利用者は少なかった。

(4) 延長保育

☆仕事等により保育時間内に保育園に迎えに来られない場合、必要に応じて保育園で預かった（18：30～19：00）

☆今年度より保育短時間認定の家庭も必要に応じて朝は7：30～8：30、夕方は16：30～17：30、16：30～18：30の間保育園で預かった。

6. 保護者支援との連携

- ☆日常の中で（園児の送迎等）保護者に出会う機会を大切にし、笑顔で挨拶したり話しかけたり、子どもの様子を伝えたりした。その際はマスクとソーシャルディスタンスを徹底しながら、保護者が安心感を持ち親しみやすい雰囲気づくりを心がけ、信頼関係が構築できるように努めた。また、いろいろな機会を活かし、保育園の方針等を保護者に伝えた。クラス便りの外にも動画配信を実施し、子どもの様子等情報発信に努めた。
- ☆クラスの状況をみながら親子活動や保育公開日を設け、密にならないよう人数調整をしながら、また、感染症対策をとりながら保護者が子どもと触れ合ったり担任と情報交換したりする機会を設けた。
- ☆新しいこと、懸案事項等、事前にPTA役員に相談し理解を得たうえで保護者に伝えるようにした。
- ☆アンケートを取りその結果と共に、園に対する要望等はできること、できないこと等説明を公表した。
- ☆全体での講演会ではなく、それぞれのクラスの保護者に発達に応じたテーマで発信していった。0～1歳児クラスは読み聞かせを通したスキンシップの大切さ、2～3歳児クラス仕上げ磨きの習慣づけに向けて歯の健康、4歳児クラスは誕生と命の大切さ、5歳児クラスは就学に向けての生活について、それぞれ講師を呼んで保護者発信していった。

7. 職員の資質向上

- ☆職員の資質向上のため、研修計画に基づく研修の実施及び研修の機会を確保した。状況に応じてWEB研修にも積極的に参加していった。参加した各種研修受講内容は、復命書及びミニ報告会で報告し、全職員の共通理解を図った。
- ☆日々の自分の保育、生活態度、仕事に対する意欲・態度等、キャリアパス制度を活用し、ふりかえり自己研鑽の機会とした。

(1) 園外研修

- ①感染症対策を徹底しながら、県・市・社協等主催の様々な研修（障がい児教育・指導者研修・マネジメント・スキルアップ・絵本・自然・食育等）に積極的に参加した。
- ②感染症対策を徹底しながら、県・市保育研究大会、雲南保協等保育公開と研究討議に参加し研修を深めた。

(2) 園内研修

- ①愛耕福社会主催の講師を招いての研修（新人職員研修、人権研修等）
- ②講師を招いての園内研究会（年6回）

8. 他園・小学校等との連携

- ☆今年度もコロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの交流は出来なかった。

(1) 他園との交流

- ・愛耕福社会3園が集まって1回交流をした。その他の交流はコロナウイルス感染症拡大防止のため、すべて中止となった。

(2) 小学校との連携

- ・今年度もすべての交流は中止となった。

(3) 中学生との交流

- ・夢発見プログラムの職場体験に4名の中学生が参加し、2歳児～5歳児のクラスで交流をした。

(4) 高校生との交流

- ・『地域パートナー探求』の授業として5名の高校2年生が5歳児と交流をした。
- ・雲南省スペシャルチャレンジの取り組みで、大東高校生が年長児と英語交流をした。

(5) 大東中学校区保・幼・こ・小・中学校の一貫教育の推進

- ・大東中学校のテスト期間に合わせ、元気モリモリ大作戦を実施した。

9. 祖父母、地域との連携

☆新型コロナウイルス対策を行いながら、地域に根付いている伝統文化の継承、祖父母や地域の皆さんとの交流や支援を得て活動を推進した。

- ①祖父母との芋苗植えと焼き芋大会・藤原鮮魚店さんとの焼きサバ交流・大東農産加工場さんとの餅つき大会・グリーンパワーうんなんさんの木育活動、畑の名人山本さんとの交流等。
- ②大東七夕保存会さんより、大東七夕祭りの由来を聞き、スイカ提灯作りの指導を受けた。また、地域の方や保護者の協力を得て、5歳児が神輿やスイカ提灯、七夕飾りを持って町内を歩いた。
- ③5歳児が大東駅から三成駅まで汽車に乗り、多根自然博物館を見学した。大東駅の方や博物館の方にいろいろなお話を聞き、交流を深めた。

10. 保育に関する評価

(1) 園評価

- ①園の取り組みや評価項目を明確にし、職員の自己評価と保護者のアンケート結果から評価を行った。

(2) 自己評価

- ①キャリアパスの評価項目に基づいて年2回自己評価を実施する。また、自己評価を踏まえ園長による面談を行い、頑張ったことや今後への目標等明らかにした。

以上

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
4	4	22	21	21	24	23	115
5	4	22	21	21	24	23	115
6	5	22	21	21	24	23	116
7	7	22	21	21	24	23	118
8	9	22	21	21	24	23	120
9	11	22	21	22	24	23	123
10	15	22	21	22	24	23	127
11	15	22	21	22	24	23	127
12	17	22	21	22	24	23	129
1	18	22	20	22	24	23	129
2	18	22	20	22	24	23	129
3	19	22	20	23	24	23	131

延長保育利用状況 () は前年度

月	登録者	利用延べ人数
4	15(18)	27(25)
5	17(18)	14(13)
6	19(21)	12(27)
7	20(21)	18(21)
8	22(23)	10(26)
9	23(24)	45(26)
10	24(25)	32(26)
11	27(26)	26(14)
12	32(26)	27(17)
1	32(26)	8(10)
2	34(26)	10(32)
3	34(27)	7(25)
合計	299(281)	236(262)

一時預かり保育利用状況 () は前年度

月	利用日数	利用延べ人数
4	0(0)	0(0)
5	1(0)	6(0)
6	0(2)	0(2)
7	0(3)	0(3)
8	0(0)	0(0)
9	0(0)	0(0)
10	1(0)	7(0)
11	2(0)	9(0)
12	3(0)	12(0)
1	1(0)	13(0)
2	0(0)	0(0)
3	0(0)	0(0)
合計	8(5)	47(5)

土曜保育利用状況 () は前年度

月	利用延べ人数
4	79(68)
5	83(89)
6	60(71)
7	50(84)
8	69(48)
9	83(68)
10	87(82)
11	77(99)
12	62(86)
1	67(104)
2	56(88)
3	72(94)
合計	845(981)

令和4年度 職員研修参加表（3月31日現在）

雲南省子ども政策局	雲南省保育協議会	島根県・厚生労働省	社会福祉協議会	園内研修
市ブロック研修	2名 木次こども園公開保育	1名 保育者研修会	1名 保育士キャリアアップ研修【乳児保育】	5歳児めろん組 9名
夢発見プログラム	2名 乳幼児期病気対応研修	1名 施設長研修会	1名 保育士キャリアアップ研修【幼児教育】	4歳児ばなな組 8名
音楽遊び研修	1名 歯科保健従事者研修	1名 発達障害フォーラム	5名 保育士キャリアアップ研修【障がい児保育】	1歳児いちご組 9名
特別支援研修	2名 雲南Iブロック研修	2名 両立支援研修	1名 保育士キャリアアップ研修【保育実践】	3歳児みかん組 8名
ふれあい遊び研修	1名 療育研修	1名 島根県保育研究大会	2名 保育士キャリアアップ研修【保健・子育て支援】	2歳児ぶどう組 9名
実践研修	2名 人権同和研修	1名 幼児教育研修	1名 保育士キャリアアップ研修【食育・アレルギー対応】	0歳児さくらんば組 8名
Aブロック研修	3名 実技研修運動遊び	1名 禁煙研修	1名 保育士キャリアアップ研修【保健衛生・安全対策】	救命救急法 29名
運動遊び研修	2名	産業保健研修		
愛着形成研修	2名	苦情解決研修		
わくわくうんなんピック研修	2名		就学前人権研修 2名	
幼児教育推進研修	2名		中堅職員研修 3名	
人権同和教育研修	1名		ダイバーシティ研修 2名	
子育て講演会	5名 就学前研修	4名 かもめ保5歳児園	1名 みなみかも保育園	
ボリテク研修(キャリア形成)	2名 水の事故研修	18名 かもめ保4歳児園	5歳児園内研修 1名	
ボリテク研修(業務効率)	3名 支援研修	2名 かもめ保0歳児園	みんなかも保育園 2歳児園内研修 1名	
ボリテク研修(SDGs)	4名 調理担当者研修	3名 かもめ保3歳児園	1名	
人権研修	29名 女性きらめき応援塾	2名 かもめ保2歳児園	1名 内研修	
ハラスマント研修	2名			

令和4年度 雲南市立大東保育園 年間行事

月	園行事	PTA行事	月	園行事	PTA行事
4月	入園のつどい 交通安全教室	PTA評議員会		焼き芋大会(祖父母交流) 元気モリモリ大作戦②	
5月	検尿(3, 4, 5歳児) 焼きサバの日 芋苗植え(祖父母交流)		11月	干し大根・干し柿づくり(5歳児) 消防車乗車・放水体験 わくわくうんなんピック(3, 4, 5歳児)	
6月	元気モリモリ大作戦① 歯科健診 クラス懇談会、個人面談 笹巻作り	環境整備作業 みかん組給食試食会 いちご・さくらんぼ組子育て講演会(大東図書館)	12月	クリスマス会 クラス懇談会、個人面談	
8月	七夕行列 プール開き 盆希望保育(13日～15日) B&Gプール体験(3, 4, 5歳児)		1月	餅つき	
9月	B&Gプール体験(3, 4, 5歳児) 歯科健診 内科健診	こどもまつり	2月	豆まきのつどい 元気モリモリ大作戦③ 生活発表会(3・4・5歳児)	
10月	中学生職場体験学習 大東町5歳児交流会	PTA評議員会 親子運動会	3月	保育公開(0・1・2歳児) ひな祭り会 お別れ会 入園前説明会 修了証書授与式 年度末希望保育	PTA監査会 環境整備作業 PTA評議員会
不定期	グリーンパワーうんなん交流 保育公開 七夕保存会さんとの交流 大東町内小中高との交流会 愛耕福祉会3園交流会 畠の名人さん交流	給食試食会 子育て講演会	毎日	一時預かり保育 延長保育	
			毎月	誕生会 発育測定 弁当の日 安全点検 避難訓練 看護師さんの話 食育活動 保育園開放日(毎週)金曜日	

* 7月は新型コロナウイルスの感染拡大によって休園やクラス閉鎖など実施したため、ほとんどの行事が中止となった。

令和4年度 雲南市ファミリーサポートセンター（大東本部）事業報告

1. 会員数（令和4年4月～令和5年3月）※ 掛合支部とは連携を取っていないため分からず。（市が把握）

	大東	木次	加茂	合計	前年度比
援助会員	29	28	24	81	+4
両方会員	12	17	5	34	+6
依頼会員	61	155	51	267	+16
合計	102	200	80	382	+26
前年度比	+9	+14	+3	+26	

2. 援助依頼の内容と利用件数（令和4年4月～令和5年3月末）※件数=援助を行った会員の人数

送迎	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	保育園から自宅への送り	0	75	0	75
	保育園や放課後児童くらぶから習い事への送り	89	0	15	104
	療育施設への送迎	84	28	0	112
	ス波少への送り	0	0	49	49
	預かり施設や放課後児童くらぶへの送迎	0	34	0	34
	送迎合計	173	137	64	374
預かり	依頼内容	大東	木次	加茂	合計
	就労や就活のための預かり	0	23	6	29
	通院や体調不良などのための預かり	0	50	1	51
	買い物等、用事のための預かり	0	20	3	23
	リフレッシュ・休養のための預かり	0	14	0	14
	きょうだいの予防接種や病院受診のための預かり	0	3	0	3
	きょうだいの園や学校行事参加のための預かり	0	44	2	46
	会議や研修等のための預かり	0	18	0	18
	冠婚葬祭のための預かり	0	1	0	1
	預かり合計	0	173	12	185
	地区合計	173	310	76	
	利用件数総合計			559	

3. 実利用人数（月ごとの新たな利用会員数を記）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大東	3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	7
木次	9	3	7	3	2	0	1	1	1	3	1	6	37
加茂	0	2	3	0	1	0	1	0	2	0	0	0	9
合計	12	5	10	3	3	0	2	4	3	3	1	34	53

4. 地区別の利用率と援助を提供する会員の実動率

	依頼会員数	実利用人数	利用率	援助会員数	実動会員数	実動率
大東	61	7	11%	29	4	14%
木次	155	37	24%	28	15	54%
加茂	51	9	18%	24	6	25%
合計	267	53	20%	81	25	31%

5. 預かりの場所別、利用件数

預かりを行った場所	平日	土	日	祝	合計
本次子育て支援センター（木次支部）	109	60			169
加茂子育て支援センター（加茂支部）	10	1			11
援助会員の自宅	0	3	1	0	4
その他（木次「地域まるごと子育て縁」）	0	0	0	1	1

6. 援助依頼のあった子どもの年齢別人数

	大東		木次		加茂		年齢別総数
	送迎	預かり	送迎	預かり	送迎	預かり	
0歳		1		16		2	19
1歳		1		7		1	9
2歳			1	5		2	8
3歳	1		1	7			9
4歳	1		1	6		1	9
5歳	1		1	5	1		8
6歳	1			1			2
7歳			1				1
8歳							0
9歳					1		1
10歳					1		1
11歳以上							0
各合計	4	2	5	47	3	6	
援助した 子どもの総数		6		52		9	67

※ 大東では、子育て支援センターとの連携が取れていないため預かりのできる場所がない。また、自宅で預かりのできる援助会員もいないため、大東での預かり依頼に対しては、木次支部や加茂支部にお願いをし、木次・加茂子育て支援センターにて預かりを行ってもらった。

7. 預かり時間別子どもの人数と、預かりの平均時間

0.5時間～1時間まで	33人	預かり時間合計=560時間
1時間～2時間まで	62人	預かり人数合計=213人
2時間～3時間まで	60人	(一人の子どもが複数回の利用あり)
3時間～4時間まで	44人	
5時間～8時間まで	14人	預かり平均時間=2.63時間

8. 援助活動（送迎・預かり）の実態

《送迎》

- さくら教室への送迎依頼が増えた。援助会員さんの負担を軽くするため、どのケースも2名をマッチングし交代で援助を行ってもらった。子どもの特性や配慮点について関係機関と連携を取り援助会員さんにも伝えているので、子どもの様子を見ながら丁寧なかかわりをしてくださっている。しかし、子どもが慣れてくるといろいろな姿が出るようになり、援助会員さんから報告や相談があった。相談に対してかかわり方のアドバイスを行ったり関係機関と連絡を取ったりした。次年度は、子どもの特性やかかわり方についての講習会を企画し援助会員さんの困り感への対応をしていきたい。また、保護者とのかかわり方を「事前打ち合わせ」の段階から見直したり、援助会員さんから相談があったら、その都度保護者と話し合いの場を持ったりすることを検討していきたい。

《預かり》

- 昨年より依頼件数が増えた。0歳児の預かり依頼が多い。きょうだい預かりの場合には、支援センターの職員（木次支部）が様子を見ながらフォローを行っている。時には3～4名のきょうだいを預かることがあるため、援助会員のみでも安全な預かりできるように、0歳～2歳児を含むきょうだい預かりを一対一の援助にすること（市からの2人目以降半額補助も）を検討してきた。引き続き検討する。

9. 令和4年度 講習会・交流会

○ 緊急救命講習会

日時：令和4年6月15日（水）

9月14日（水）

11月12日（土）

10:00～11:15

場所：斐伊交流センター 多目的ホール

対象：援助会員（第3回目は全会員）

講師：雲南消防本部 救急隊

参加者総数：26名

1. 心肺蘇生法の実習

2. AEDの使用方法

3. 気道異物の除去法

4. 質疑応答

（あらかじめ質問を用意し、「こんな時、どうすればいいの？」に答えてポイントを教えてもらった。会員からも質問が出た。）

（感想）

- 見ているのとやってみるのとでは大違いで、受講することの大切さが分かった。（胸骨圧迫は力が必要など）
- 質疑応答の内容がとても良く参考になった。など

○ 事故防止講習会

日時：令和4年6月24日（金）

10:00～11:00

場所：斐伊交流センター 多目的ホール

対象：全会員

講師：高木さん

参加者：12名

1. 「自然災害発生時の子連れ避難」

2. 「3歳までに多い事故と事故防止」

・プロジェクターを使用しての講義

・たくさんの資料の配布あり

（感想）

- 子どもの事故に対して気をつけようという意識が持てた。
- 子連れ避難を考えたことがなかったのでいろいろなことが学べて良かった。など

○ 交流会&研修会

日時：令和4年12月15日（土）

10:00～11:15

場所：斐伊交流センター プレイルーム

対象：全会員

講師：大坂さん（木次図書館司書）

参加者：大人9名、子ども6名

「子どもに読んでもらいたい絵本～選書のポイント（2歳～5歳向き絵本の紹介と読み聞かせの実演）」

（感想）

- 絵本の選び方、読み方、めくり方、子どもに絵本を選ばせる、感想を聞かないなど、たくさん参考になった。など

10. 令和4年度の検討事項

① 「活動時間の算出方法の統一」についての検討

援助活動における報酬金額は、送迎・預かりとともに、「援助会員が自宅を出てから自宅に戻るまでの時間にかかった料金」となっているが、これまで木次子育て支援センターでの預かりでは、「子育て支援センターでの預かり開始から終了までの時間に対してかかった料金」を請求していた。雲南市ファミリーサポートセンターとして各地域にそれぞれの歴史があり、統一に際して長く活動して来られた援助会員からの反対の声もあった。依頼会員と子どものためにと尽力して来られた方々なので何度も思いを聞いた上で、時間をかけて統一の運びとなった。令和4年度3月の「ありがと通信」にて全体に周知し、令和5年4月から実施する。実動援助会員と利用される依頼会員には文書にて知らせる。

② 「0歳児～2歳児を含むきょうだい預かりを一対一の預かりとする」ための検討と「市からの2人目以降の利用料金半額補助」についての検討

市にて検討中。今後も引き続きお願ひをしていく。(添付資料1.)

③ 「送迎活動時の移動距離に対して、依頼会員が実費（ガソリン代）を支払う」ことの検討

検討とお願ひを重ねた結果、令和5年10月からの実施となる。(添付資料2.3.)

④ 一人親家庭への利用料金の半額補助についての検討

今後、市が検討していく予定(添付資料4.)

⑤ 「相互援助の手引き　ありがとうの輪（職員用）」の作成（途中）

今年度は、「ファミリーサポートセンター実施要綱」を基に、他市の取り組み情報を収集しながら雲南市ファミリーサポートセンターがどうあるべきかについて真剣に検討と改善に向けての取り組みを行ってきた。

雲南市では平成16年からファミサポ事業が始まっているが、今までの歴史の中で、市としての統一性や国からの指示の伝達が不十分だったところがあり、それらの問題点を取り上げて検討を続けた。また、援助会員への聞き取りを行ったり事情説明を行ったりもした。その結果、利用料金の統一は、令和5年4月から実施することとなった。また、送迎活動時の移動距離に対して実費（ガソリン代）の支払いを依頼会員へ請求することについては、令和5年10月から実施することになった。その件に関して「ありがと通信」での全体周知と関係者への文書の配布を行う予定である。

これらの改善は依頼会員には料金負担が増となるが、もともとファミサポ事業の原則であり、他市のはほとんどは以前からそのように取り組んでいる。また、ファミサポ事業が相互援助の活動であるとの観点からも、「改善事項」は「あるべき形になった」と考えられ、全会員に理解を求めていくことが必要だと思われる。

「一対一の預かり」も、安全面への配慮と援助会員の負担の軽減のためにと考えていることであり、早く実施できることを切に望んでいる。実際、援助の依頼にはいろいろなケースがあるものの、援助を提供できる会員は減少傾向にあり、新規の会員も獲得しにくくなっている。また、国から、援助活動の安全面の強化やスキルアップを求められていることから講習会を少しずつ増やしているため、援助会員の負担は年々増になっている。援助会員の高齢化や家庭の事情等で援助ができなくなった会員が増えてきたことを考えると、できるだけ長く活動を続けてもらったり新規の援助会員になってもらったりするためには、制度の改善を行っていくことがとても重要なことだと思われる。残っている課題について引き続き検討し、さらにより良い改善ができるよう努力を重ねていきたい。

以上

(添付資料)

1. 令和元年度～4年度までのきょうだい預かりにおける利用料金の2人目以降半額補助金額の算出

	きょうだい預かり件数(平日／土曜日)	時間数(平日／土曜日)	半額補助算出金額
R元年度	11件(平8件／土3件)	23.5(平17／土9)	8,700円
R2年度	11件(平9件／土2件)	22.5(平18.5／土6.5)	8,150円
R3年度	23件(平19件／土4件)	68.5(平53.5／土15)	22,050円
R4年度	17件(平8件／土9件)	38.5(平15.5／土23)	20,100円

利用料金・・平日：30分300円／土・日・祝：30分400円

(R4年度きょうだい預かり人数内訳・・2人：9件、3人：7件、4人：1件)

2. 『雲南市ファミリー・サポート・センター報酬規程』について

(第4条) 援助会員が相互援助活動にあたり自動車を利用するときは、第2条に定める利用料金のほか市場の燃料単価等を考慮し、移動距離に要した燃料代として実費相当分を依頼会員へ請求することができる。また、援助会員が公共交通機関を利用するときは、必要となった実費を依頼会員へ請求することができる

3. ○『道路運送法における登録又は許可を要しない運送の態様について』の細部取り扱いについて

(平成22年9月1日 自動車交通局旅客課よりの事務連絡)一部抜粋

主としてボランティア活動における送迎行為等において、登録等が不要な場合の考え方等を示している。「ファミリーサポートセンターで保護者に代わって行う保育園児等の送迎などの支援活動における道路運送法の適用除外」について考え方の明確化が示されている。

○『ファミリー・サポート・センター事業における保育施設等までの送迎に係る留意点について』

(平成22年9月1日 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 職業家庭両立課よりの事務連絡)一部抜粋
本通知により「ファミリー・サポート・センター事業における保育施設等までの送迎については、一般的に有償の運送には該当しないものと考えられるとの見解が出されており、利用会員が報酬のほかにガソリン代等の実費分を費用負担するとしても、提供会員は道路運送法における登録等の必要性はない」

4. ひとり親家庭のファミサポ利用人数・件数・支払金額・依頼内容について

	利用人数	利用件数	会員が支払った金額	依頼内容
H28年度	1名	105件	42,000円	・自宅から保育施設への送り(朝) ・保育施設や習い事から自宅への送り(夕)
H29年度	4名	66件	55,900円	・保育園への迎えと援助会員宅での預かり ・援助会員宅での預かり(日・祝あり) ・療育施設への送迎 ・自宅から小学校への送迎(朝・夕)
H30年度	2名	5件	17,600円	・保育園への迎えと援助会員宅での預かり ・援助会員宅での預かり(日・祝あり)
R元年度	1名	2件	7,800円	・保育園への迎えと援助会員宅での預かり ・援助会員宅での預かり(祝日あり)
R2年度	2名	75件	46,100円	・保育園への迎えと援助会員宅での預かり ・小学校への迎えと自宅への送り
R3年度	3名	22件	16,500円	・保育園への迎えと援助会員宅での預かり ・児童クラブ等への迎えと預かりや送り

令和4年度 みなみかも保育園 事業報告

1 保育理念・保育目標・保育方針

【保育理念】

- 子ども一人一人の育ちを支え、保護者と連携を図りながら信頼関係を深め、地域に愛される保育園をめざす。
- 養護と教育を一体的に行う保育園をめざす。

【保育目標】

『豊かな心をもち、たくましく生活していく子どもの育成』

～子どもの心が動く瞬間を捉えて～

★研究の視点を上記にしたことで、保育を行う際の視点につながり、事例を書くことで自分の保育を振り返ることができるようになった。

＜めざす子ども像＞

- 明るく元気な子ども (あいさつ)
- 友達を大切にし、思いやりのある子ども (ふるまい)
- ふるさとを愛する子ども (地域への愛着)
- 自分で考えて行動し、最後まであきらめない子ども (主体的な学び)

【保育方針】

* しなやかで豊かな人間性の育成

0～5歳児までの6年間の成長発達をとらえた保育課程を基に一人一人に即した支援や直接体験、感動体験を大切にした保育を通して、豊かな心情や思考力の芽生えを培い、心身共にしなやかで自主性のある子どもの育成をめざす。

*たくましい身体の育成

地域の自然環境に親しみ、身体をしっかりと使って遊べる保育を展開していく。生活リズムを整え、たくさん食べて、丈夫な身体を作っていくように保護者と連携していく。また、子ども一人一人の育ちに配慮した養育・保育・教育を推進し、日々の生活や活動に充実感がもてるよう努める。

*信頼される保育園

地域の人・もの・こととの出会いの機会を大切にし、保護者、地域の方々の協力を得ながら、いろいろな人とのかかわりや多様な体験をして、故郷を愛し、しなやかに生き抜く力をもった子どもの育成をめざす。また、地域の中で親しまれる保育園になるよう努める。

＜めざす職員像＞

幸福度100%をめざそう！それには『動いて 感じて 積み重ねる！！』

- 明るい挨拶、明るい対応、明るく動く (明るく元気な職員)
- 子どもを第一に考え、主体的に行動する (主体性をもった職員)
- 豊かな感性をもち、子どもの成長を保護者や同僚と喜び合う (素直に表現できる職員)
- 進んで研修会に参加し、自己研鑽を積み重ねる (向上心をもった職員)

2 園児数

(1) 定員数 60名

(2) 年齢別園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
令和4年4月1日	2	9	13	9	14	13	60
令和5年3月31日	11	9	13	8	14	12	67

3 職員体制

職員24名（正規職員11名） 10月より23名

- | | | | |
|--------|----------|---------|------------------|
| ・園長 | ・主任保育士 | ・保育士14名 | ・保育補助3名（10月より2名） |
| ・看護師1名 | ・栄養士2名 | ・調理師1名 | ・事務員1名 |
| ・嘱託医1名 | ・嘱託歯科医1名 | | |

4 健康支援と安全

(1) 健康支援

○看護師の専門性を活かした園児及び職員の健康管理や安全、衛生管理を行う。

○感染予防・怪我対応のための衛生管理の徹底

- ・園児への保健指導（「かんごしさんの話」…3、4、5歳児対象）
- ・個々の成長及び健康管理、欠席状況把握
- ・保護者への啓発（保健便りの発行・流行期の感染症発生状況の情報提供・健康相談）
- ・園児・職員の健康管理（元気っこタイム・ラジオ体操など）
- ・基本的生活習慣の確立に向けた支援（生活リズムについて家庭と連携する…年3回「元気モリモリ大作戦」 1～5歳児対象）
- ・嘱託医による健診（内科…年2回、歯科…1回）

★新型コロナウイルス感染症について、4月2回、8月1回の休園を行った。

(2) 安全管理

○事故発生時の対応・防災対策・安全管理等に関するマニュアルを全職員が熟知し、危機的状況が発生した場合には、それに沿って素早く体制がとれるようとする。

★陽性者が出来たにもかかわらず、普段の安全衛生面で徹底した消毒などを行っていることが功を奏したのか、感染が広がらなかつたことは幸いだった。日頃からの備えが大事。

○園舎内外の安全点検・危険個所の改善・災害発生時の訓練等を行うなど安全対策に努める。

- ・災害時想定（不審者対応含む）の避難訓練の実施（毎月）
- ・交通安全教室（年2回）
- ・安全点検（毎月）
- ・ヒヤリハット、事故報告書による安全対策の重視（隨時）

★業者さんが許可なく、園舎を撮影するという事案が起きた。日頃からの訓練の賜物により、すぐに職員の連携、通報、避難という措置がとれた。訓練の大切さを改めて感じた。

(3) 食育の推進

- 地産地消を積極的に取り入れ、安心安全な食材を使った献立の工夫と食事の提供を行う。
また、保育士と連携しながら、園の畑で収穫した野菜を取り入れたり野菜の皮むき手伝いをしたりして子どもたちに「食材」に関心をもたせる。
- アレルギーのある子どもに対しては、保護者と連携して一人一人の状態に合わせた除去食の提供と栄養士・看護師・保育士が連携して適切な対応をする。
- 園生活の中で「食」への興味関心が高まるように工夫する。また、より良い食生活の習慣が身につくように年間 食育計画を作成し、日々の食事や行事食に活かす。
 - ・食育のつどい…マナー、食生活習慣など計画的に行う。
- ★子どもたちにわかりやすく「もぐもぐネット」とネーミングし、開催したところ、子どもたちの興味を引き、食育に関する興味が増した。
- ・栽培物のクッキングや親子クッキングを行う。
- ・食文化の継承（よもぎ団子、柏餅、笹巻き、焼き芋、餅つきなど）
- ・多文化共生の観点から、雲南省国際交流員を招いての外国メニュークッキングを行う。
- ・郷土料理、絵本献立、なかよし給食（アレルギー食品を使用しない）など取り入れる。
- ・食育部会を開き、調理と保育の立場から子どもたちへの「食」について検討し、活かす。
- ・給食献立、食育だより、ホームページ、給食の玄関展示などで保護者への食について啓発したりレシピなどを発信したりしていく。
- ★献立表に子ども・保護者・職員からのリクエスト献立や我が家のレシピを載せるなどの工夫をしたことで、「ネーミングについて」や「〇〇ちゃんのおうちのおかず」などと話題が盛り上がり食育にもより関心が向いた。保護者からレシピを求める声があったときには、すぐに対応し「早速作ってみた」などの感想が聞かれた。

5 子育て支援

- (1) 子育て支援
 - ★園長便り（みなみかもっこだよりNo.3 7まで発行）・クラス便り・園便り・保健便り・食育便り・献立表など、各自の専門性を活かした情報の発信を一時預かりの方にも配布し、保育園の園児と同様に扱った。
 - 毎日園開放を行い、地域の子育て支援として「開かれた保育園」「信頼できる保育園」となるよう努める。希望者には給食を提供し、子育て相談、食育相談などを受ける。
 - ★コロナ禍でほとんど利用はなかった。
- (2) 一時預かり
 - 市内外の保育園に在籍していない乳幼児を、保護者の希望に添いながら、基本毎日利用できるようにして育児支援を行う。
 - ★前期はコロナ禍で市外からの利用はできなくなったが、後半、各子育て支援センターへ独自のポスターを作成し、啓発に出かけたところ、ほぼ前年度並みに利用が増えた。年間延べ人数 279名（別表）の利用がありニーズは多いと感じる。広報活動を続ける必要あり。
- (3) 延長保育
 - 仕事等の都合により保育時間以外で需要がある場合は、必要に応じて保育園で子ども

を預かる。(朝7:00～7:30、夕18:30～19:30)
★令和4年度については、限られた方のみでほとんど利用はなかった。(別表)

6 保護者と連携

- 信頼関係の構築…送迎時、連絡帳などを利用し、園での様子を伝えたり、保護者の思いや悩みに共感したりする。また、笑顔で挨拶したり声掛けをしたりするなどに心がける。
- 開かれた保育園…コロナ対策をしつつ、計画的に保育公開日を設け、希望者には給食の提供を行う。 ★コロナ禍ではあったが、延べ129名の参加があった。
- ★情報発信…園便り、園長便り、クラス便り、保健便り、食育便り、献立表、ホームページ、玄関の掲示物、クラス前の掲示物など、各自の専門性を活かし、伝え方を工夫しながらの情報発信を行った。動画配信も行事のたびに行ってきていたので保護者には大変好評だった。
- P T A役員とのつながりを深める…保護者全体との懸け橋になってもらうべくP T A活動を中心に、事前に相談し理解を得た上で活動を進めていく。また、新しいことや懸案事項などについても相談していく。特にコロナ対策には万全を期す。
- 保護者の意見を聞く…年度末に園運営についてのアンケートをとり、その結果を踏まえ要望や意見に対する改善努力を図る。
- ★アンケートによると、前年度と同様にほとんどの保護者の方が「コロナ禍であるにもかかわらず、いろいろな行事をしてもらってありがたい」という感想をもたれていた。

7 職員の資質向上

- 研修計画に基づき、職員の研修の機会の確保を行う。研修後は、自分のものにとどめず復命書及び報告会により、他の職員に伝え共通理解を図り、同じ意識をもって保育に取り組めるようにする。
- 各クラス園内研究会を行い、自分の保育を多面的に捉え保育の資質を高めていく。
- 自主研修参加を認め、主体的に学ぼうとする職員の意欲を高めていく。
- ★年度当初の職員会で研修について自主的な参加を求めたところ、職員の自主性が伝わってきた。

8 他園・小学校等との連携

*人・もの・こととの出会いを大切にし、コロナ対策をしながら、園以外の同世代の交流や異世代交流を深め、いろいろな人とのかかわりや多様な経験をする機会を設ける。

- (1) 他園との交流
 - ・愛耕福祉会の保育園との交流会 ★年長児を対象に2回行った
 - ・加茂こども園との交流会 ★コロナ禍で中止
- (2) 小学校との連携
 - ・園児の該当地区の小学校との交流を通しての連携
★海潮小学校とは2回の交流ができた。
 - ・加茂小学校との交流 年2回
★1回だけ1年生のお店屋さんごっこに招いてもらった。
- (3) 中学生との交流
 - ・夢発見ウィーク(職場体験)を通しての交流

(4) 施設の方との交流

- ・加茂の郷、加茂の杜の方との交流 ★コロナ禍で中止
- ・ニチイケアセンターあかがわの方との交流 ★コロナ禍で中止

9 地域との連携

* 地域の伝統文化の継承、地域の方との交流活動を推進する。

- ・柿&芋同好会さんとの交流(芋苗植え、芋ほり、焼き芋、柿とり、干し柿づくり、コスモス祭り)
★予定通り開催できた。
- ・笹巻づくりを行い、地域の方との交流を深める。★予定通り開催できた。
- ・餅つきの行事を通して、地域の方との交流を深める。★予定通り開催できた。
★コロナ禍ではあったものの、対策を万全にして行うことができ、ふれあいを通して地域の方の温かさを感じ、感謝の気持ちをもつことができ、子どもたちの成長になくてはならない交流となっている。
- ★令和3年度から行った「田植え体験」「稻刈り体験」も農事組合法人南加茂さんの協力によりいい交流となった。体験を通じ、地域の方との交流を楽しんだりお米について知ったり感動体験を味わうことができた。
- ★令和4年度の新春行事として「新春のつどい」と称し、南加茂貴船社中の方の神楽をみんなで楽しむことができた。今後も続けていきたい。
- ★絵画を寄贈していただいたことで、お礼に園にお呼びし、併せて地域で活動されているコーラスグループ「ミューズエコー」の皆さんとの交流も楽しんだ。

10 保育に関する評価

(1) 園評価

- ・園の取り組みや評価項目を明確にし、職員各自の目標に基づく自己評価と保護者のアンケート結果から評価を行う。それを次年度に活かす。
★令和3年度より加茂地区学校運営協議会に入ったので、その3本柱に沿った評価を行った。「あいさつ・ふるまい」「地域への愛着」「主体的な学び」は、保護者にもわかりやすく評価しやすいものだったので、園評価も同じように併せることにした。

(2) 自己評価

- ・目標管理・評価シートにより園長との面談を経て、各自今後の目標等を明らかにしていく。その上で評価項目に基づいて年2回自己評価を実施する。更なるスキルアップに活かす。
★個人の評価とクラス別評価を行い PDCA でしっかりと次に活かせるようにしていくなければならない。

令和4年度 みなみかも保育園 園児数の推移（月末時点）

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4	2	9	13	9	14	13	60
5	3	9	13	9	14	13	61
6	3	9	13	9	14	13	61
7	3	9	13	9	14	13	61
8	3	9	13	8	14	12	59
9	5	9	13	8	14	12	61
10	6	9	13	8	14	12	62
11	7	9	13	8	14	12	63
12	9	9	13	8	14	12	65
1	9	9	13	8	14	12	65
2	10	9	13	8	14	12	66
3	11	9	13	8	14	12	67

※7/31 2名退園

令和4年度 みなみかも保育園 利用状況

一時保育利用状況			
月	1日利用日数	半日利用日数	利用延べ人数
4	12	15	27
5	12	5	17
6	15	4	19
7	14	1	15
8	11	2	13
9	9	0	9
10	11	14	25
11	13	13	26
12	10	9	19
1	15	8	23
2	28	13	41
3	39	6	45
合計	189	90	279

延長保育利用状況						
月	登録者	利用日数	3歳未満児	3歳以上児	短時間保育	利用延べ人数
4	3	0	0	0	0	0
5	4	3	2	3	2	7
6	8	2	0	2	1	3
7	8	3	1	3	0	4
8	10	1	0	1	4	5
9	12	1	0	1	0	1
10	12	2	0	2	0	2
11	12	4	1	3	2	6
12	13	6	3	3	5	11
1	14	1	1	0	1	2
2	15	4	4	5	1	10
3	16	4	3	4	3	10
合計		31	15	27	19	61

保育公開参加状況			
月	利用者数	給食試食数	行事
4	0	0	
5	40	0	PTA総会 クラス懇談会
6	41	23	フリー公開日
7	0	0	
8	0	0	
9	0	0	
10	0	0	
11	48	21	クラス別公開 (子育て講演会)
12	0	0	
1	0	0	
2	0	0	
3	0	0	
合計	129	44	

開放デー参加状況		
月	利用者数	給食試食数
4	1	1
5	0	0
6	0	0
7	0	0
8	0	0
9	2	2
10	2	2
11	1	0
12	1	0
1	0	0
2	0	0
3	0	0
合計	7	5

土曜保育出席状況	
月	出席園児数
4	35
5	62
6	51
7	63
8	30
9	36
10	43
11	54
12	30
1	22
2	36
3	36
合計	498

愛耕福社会研修	県社協研修会	園内研修会	雲南保育協議会研修	その他
雲南省子ども政策課 第1回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォームの必要性～園職員研修会～	3名 園内研 (大東保育園) キヤリアアップ研修 (マネジメント)	1名 園内研修会 (事例研修)	5名 実技研修 「運動遊び」	2名 ビジネスマナー研修 2名
第2回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォーム～島根県幼兒教育振興ア ログラムについて～	1名 園内研 (かもめ保育園) キヤリアアップ研修 (保育実践)	1名 園内研修 (5歳児) キヤリアアップ研修 (幼稚教育)	8名 プロック別研修 「保育を 話る会」	1名 人権同和教育研修会 (雲南省教育委員会)
第5回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォーム～園職員研修会に課題のある 子どもの理解と支援～	5名 3園調理担当者研修会 キヤリアアップ研修 (障がい児保育)	1名 園内研修 (4歳児) 2名 園内研修 (3歳児)	8名 公開保育 「来島保育所」 保健を語る会	3名 就学前人権教育講座 (島根 県教育委員会) 2名 てんかんとの向き合い方 (島根 県てんかん協会)
第6回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォーム～園職員研修会～運動遊び・音楽遊び～	2名 ハラスマント研修 就学前子育て講演会	7名 保健を語る会	2名 気になる子への支援方法の見つ け方	4名
第7回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォーム～体の働きかけについて～	2名 園職員研修会～体の働きかけについて～ SDG's研修会	9名 公開保育 「阿井幼稚園」	1名 公開保育 「木次こども園」	3名
第8回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォーム～音・言葉が街 ぐ モミニケーションの技法～	2名 業務率向上のための時 間管理 人権研修	5名 公開保育 「木次こども園」 調理担当者研修会	1名 保育士・保育教諭合同研修 (島根県教育委員会)	2名
第3回 幼稚園・保育所・認定こども プラットフォーム～音楽の中での音楽遊び～	2名 園職員研修会～音・リズム・言葉が街 ぐ モミニケーションの技法～	4名 キヤリアアップ研修 (保健衛生・安全) 全職員 キヤリアアップ研修 (乳兒保育)	7名 調理担当者研修会	3名 福祉サービス苦情解決研修 (島根県運営適正化委員会)
		1名 園内研修 (0歳児) 2名 園内研修 (2歳児)	7名 療育を語る会	2名 特別支援教育説明会 2名
		AED研修 継続雇用のキヤリア形 成と管理者の役割	20名 島根県保育協議会研修	
		3名 発達障害への理解		4名 保育士・保育教諭スキルアップ研修
		3名 女性きらめき応援塾		1名 主任保育士研修
		4名 就学前子育て講演会		3名 食育推進研修会
		3名 発達障害講座		2名 施設長研修
		2名 コーチングを学ぶ		

令和4年度 園生活のあゆみ(園行事)

4月		11月	
5日	入園のつどい	2日	加茂小学校交流会
5月		7日	保育公開・子育て講演会（5歳児）
12日	内科健診	8日	保育公開・子育て講演会（0.1歳児）
16日	芋苗植え（柿&芋同好会さんと）	9日	保育公開・子育て講演会（4歳児）
24日	PTA総会・保育公開・クラス懇談会	10日	焼き芋パーティー
26日	春の交通安全教室	11日	保育公開・クラス懇談会（2, 3歳児）
6月		29日	ありがとうの会（農事組合法人さん・柿&芋同好会さんと）
2日	田植え体験（農事組合法人さんと）	30日	あそボール
8日	笹巻きづくり	12月	
20日	フリー公開（24日まで）	5日	県緑化事業出前講座
7月		20日	クリスマス会
4日	プール開き	1月	
6日	コスモス苗植え	11日	新春お楽しみ会（南加茂貴船神楽社中）
11日	運動遊び（5歳児）	13日	餅つき（アヨ有機農法塾さんと）
27日	歯科健診	18日	あそボール
14日	B&Gプール遊び（5歳児）	2月	
15日	B&Gプール遊び（4歳児）	1日	人権カレンダー作り
22日	第2回PTA評議員会	3日	節分のつどい・貴船神社参拝
29日	夏祭り	11日	発表会
8月		15日	0~2歳児保育公開
16日	B&Gプール遊び（4, 5歳児）	16日	5歳児終了記念品製作（舟木木工所さんと）
23日	川遊び（5歳児）	27日	おわかれ遠足
30日	カレーパーティー	3月	
9月		2日	入園前説明会・内科健診
7日	3園5歳児交流会（丸子山公園）	3日	PTA監査会・第4回PTA評議員会
16日	芋掘り・コスモス祭り	10日	おわかれ会
21日	歯科健診	23日	修了証書授与式
29日	内科検診	29日	修了式・離退任式
30日	3~5歳児親子バス遠足（三成遊園地）	<毎月>	
10月		誕生会	発育測定
1日	PTA環境整備作業（～7日）	弁当日	避難訓練 食育の集い
3日	0~2歳児親子遠足（宍道ふるさと森林公園）		
4日	稲刈り体験（農事組合法人さんと）		
12日	第3回PTA評議員会		
15日	PTA親子運動会		
17日	柿収穫体験（柿&芋同好会さんと）		
19日	あそボール		
20日	加茂よっといで祭り参加（4, 5歳児）		
23日	5歳児交流会（B&G海洋センター）		
27日	わくわくうんなんピック（3~5歳児）		
31日	交通安全教室		